

創立20周年記念誌

FUKUOKA NORTH ROTARY CLUB  
1983→2003



The 20th anniversary  
福岡北ロータリークラブ



2003年6月7日  
西鉄グランドホテル



小冊子「子どもたちへ」  
—歴史に学ぶ思いやりの心—



記念事業のエプロンと布巾を作る共同作業所の子どもたち

## 福岡北ロータリークラブ式典旗



創立20周年記念



## 青少年育成

育てよう  
思いやりの心



The 20th anniversary  
**FUKUOKA NORTH  
ROTARY CLUB**  
1983→2003

C O N T E N T S

会長あいさつ .....	6
祝辞 .....	7
福岡北ロータリークラブ・バナー .....	11
記念事業プロジェクトチーム組織図 .....	12
20周年記念テーマと事業 .....	13
20周年記念事業のご紹介 .....	14
20周年記念準備部会活動紹介 .....	18
成人式式典ドキュメント .....	20
式典・祝宴スナップ .....	24
記念事業の各メディアの報道 .....	28
20周年記念座談会 .....	32
福岡北ロータリークラブ創立縁起 .....	39
認証状 .....	39
姉妹クラブ協定書 .....	40
20年の歩みと社会の出来事 .....	41
ボーイスカウトの実績 .....	45
歴代役員・委員 .....	48
物故会員 .....	62
寄付会員の実績 .....	64
会員プロフィール .....	65

# 会長あいさつ



ご来賓の方々を始め、皆々様のおかげで、本日、成人式を迎えました。会員の皆様おめでとう！  
成人になったからには、なお一層の研鑽と努力をして行かねばならないとの責任を痛感しています。

福岡北ロータリークラブは、1983年（昭和58年）6月、福岡城西ロータリークラブのスポンサーによってチャーターメンバー50名で誕生致しました。長いようで短かった今日、早いもので、創立20周年を迎えることが出来ました。

これは歴代ガバナーを始め、多くの方々のご指導、ご支援のおかげと存じます。また、会員諸兄の「手作りのクラブを造ろう」を合言葉とし、その目標に向かって邁進して來た結果だと思っています。この記念すべき創立20周年という晴れがましい時に、年度会長を務めさせて頂き、はなはだ光栄に存ずると共に、素直にこの喜びを噛みしめているところです。

ここ数年来、日本経済、いや世界的に経済が低迷している昨今、必然的かどうかは解りませんが、世界のロータリアンが減少していることは、真に嘆かわしいことです。

何とか、この傾向を食い止めるために、我がクラブは、明るく楽しいクラブであることをモットーとして、いろんな形でクラブの改革を進めて來ました。

更に、環境団体の方には叱られる言葉かもしれません、20年前の創立時のことでお許しをいただいて、我がクラブは「木を育てるより 人を育てよう」を理念として活動し、「若楠基金」なども、もうけました。本日、式典旗の入場のお手伝いをして下さったボーイスカウト福岡第14団の支援もその一つです。

成人となった今、これを新たなスタートとして、気を引きしめて、青少年育成の一助を担うつもりで、我がクラブの理念にそって、新しいテーマを掲げました。

テーマは「青少年育成 育てよう思いやりの心」です。

今後も会員一同一丸となってテーマを中心に奉仕と親睦に努めてまいりますので、ご来賓皆々様方のご支援の程をよろしくお願ひします。

村上 泰之

# 祝　辞

福岡市長  
山崎 広太郎



本日ここに、福岡北ロータリークラブが創立20周年を迎えられ、記念式典が盛大に開催されることを心からお祝い申し上げます。

貴クラブは、昭和58年の結成以来、永きにわたり、青少年育成や環境保全などの多岐に渡る奉仕活動に取り組んでおられます。

その御功績が各方面から高い評価を受けておられますことは周知の事実であり、皆様方の日頃からの弛まぬ努力と熱き想いの賜物であると衷心より敬意を表する次第であります。

さて、これからは、九州・アジアという広域的な視点に立って、この福岡市の力を伸ばしていくことが大切だと考えており、そのためには市民が生き生きと活躍し、その多種多様なネットワークによつて、さらなる活力を生み出していくかが益々重要になると考えております。生活を取り巻く福祉、環境、教育、防災などの地域における課題に対して、市民の皆さんと行政が手を携えて取り組み、地域の問題は地域で解決するという地域経営の基本原則を確立していくたいと考えております。

そのためには皆様に象徴される市民や各種団体の役割がますます大きくなつており、これからの社会に元気を与える源になると確信しております。本市におきましても、N P O・ボランティア交流センターや地域コミュニィの核となる公民館の充実を図つており、これらの施設を活用され、ますます皆様方の多様な活動を進めていただくよう期待しております。

今後とも、市民一人ひとりに力を発揮してもらえる舞台を作り、自由闊達で人が輝くまち、福岡に住むことの誇りと幸せを実感できるまちを、市民の皆さんと手を携えて形づくつまいりますので、会員の皆様方にはさらなる御支援、御協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、福岡北ロータリークラブ20周年記念式典のご盛会と皆様方の今後益々の御活躍、御発展を心より祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

# 祝　辞

ガバナー  
高本 精之



福岡北ロータリークラブが設立されて20年を迎えた事、心よりお喜び申し上げます。

日本では生まれて20年で成人式を行う様になっています。貴クラブは正に成人です。貴クラブは創立後幾多の苦難を経て今や福岡に於ける立派な中堅クラブと成長された事、誠に慶賀の至りです。おめでとうございます。

貴クラブ10周年誌を拝読し貴クラブの発展の経過を伺い知りました。貴クラブはR.I.創立100周年を迎える2005年までの間の100人のR.I.会長の中でたった二人しか出ていない日本人のR.I.会長の一人である向笠さんの時に創立されました。全くラッキーです。おめでとうございます。そして10周年を機に当時の平野桂樹特別代表が「木を育てるより、人を育てよう」という合言葉のもとに日本ボーイスカウト福岡第14団を発足され、現在も継続されていると云う立派な事業をされている、奉仕は実行です。そして今日最も必要な青少年の育成に着目された貴クラブは正に世界最大のNPOの一つであるロータリーの中にあって、なくてはならないクラブです。

本年は亦、私がガバナーになって始めてD.L.P.を実行しました。皆様も全く理解出来なくて大変悩まされたと思いますが、それ程ロータリーが今、大きく動き大きな曲がり角に来ている様に思われます。“Something Great” 「サムシング・グレイト」ある偉大な力によって物事が動かされていると思います。自分の力ではどうにもならないある大きな力が世の中には働いていると思われます。だがしかし現在ではこのD.L.P.もお陰様でよく理解され、協力戴いていると思いますが、この変化にもよく順応され、次の時代に大きく飛躍されようとしている私は思います。

創立10周年より20周年を大きく躍進されてこられました。更に次なる30周年に向かって大きく発展され、又、会員各位もご健勝でご活躍あらん事を心よりお祈り申し上げます。

# 祝　辞

福岡城西ロータリークラブ

会長 中西 勇



福岡北ロータリークラブの皆様、創立 20 周年を迎えるにあたり、心よりお慶びとお祝いを申しあげます。

さて、貴クラブは 1983 年に、当時の中牟田喜一郎ガバナーの下、福岡城西ロータリークラブをスポンサークラブとして、平野桂樹特別代表以下 50 名のチャーターメンバーで創立されました。福岡城西ロータリークラブから転籍された、故平野特別代表、故新家忠男パストガバナーのご指導のもと「木を育てるより、人を育てよう」という基本理念で、クラブの簡素化、合理化、冗費節約型運営の「手作りクラブ」として発足されました。

お二人のロータリアンとしての熱い思いは、現在でも当クラブにおいて語り伝えられております。奉仕の実践を第一とするロータリアン精神に改めて感動いたしております。

貴クラブの創立以来 20 年の星霜は決して平坦な道ばかりではなかったと想像致しますが、50 余名のメンバーの結束は固く、地区大会のホストクラブを始め、その他輝かしい業績を重ねられ今日を迎えられましたことは、大変素晴らしいことです。

今、RI は 2005 年に創立 100 周年を迎えるとしております。「未来を築く」ために「ロータリーは如何にあるべきか」を真剣に模索する、まさにその時期を迎えていると存じます。

ポールハリスの「夢がなければものは始まらない。決心がなければものは完結しない。我々の活動する時代はもう終わりつつあるのだろうか? いや、有難いことにそうではないのだ。何かもも悪いところだらけなのだ。ロータリーのどこをとっても改善の考えられないようなものはおそらく一つもないのではないかと思う。ロータリーが開拓者となる時代は今始まったばかりだと私は考えたい。」という言葉を改めて想起しながら、あいともに「奉仕の理想」に励みたいと存じます。

貴クラブの今後ますますのご発展と、会員の皆様のご活躍を祈念いたしまして祝辞といたします。

# 祝　辭

高雄中興扶輪社  
社長　莊　金龍

## 祝賀詞

敬愛的日本福岡北扶輪社　村上泰之　社長，各位社友先進們，衷心祝賀貴社授證二十週年慶典，今天本人代表高雄中興扶輪社社長的名義向各位祝福，對本人來說實在是一件非常光榮的事。

福岡北社是一個擁有數不清耀眼社績，受社會人士所肯定、同輩所推崇的社團，這是值得你們喜悅與驕傲的，同時讓我們也有同樣的感受。扶輪的最終目的是在改善人與人之間的關係，創造更美好祥和的社會。今日貴社成立二十週年慶典，以「青少年培養培育愛心」為主題所舉辦的各種紀念活動，就如 RI 今年的宗旨「播撒愛心的種子」，就是要喚起每一個人內心深處的善意，由下而上，發揚其服務的理念，而這些都必須基於人與人之間的互相信任與友情才能得以發揚。集合眾人的棉薄之力後，任何艱困皆不足為懼，這就是我們的目標，一個眾志成城、以增進世界人類之生活的大同世界。

我中興社與貴社締結姐妹社 7 年來，由於你我雙方前輩們培養出來的心與心的結合，以及透過文化藝術的交流等等，已留下非常有意義且關係非凡無法磨滅的足跡。

祝福貴社社運昌隆，社友健康幸福，授證二十週年慶典圓滿成功。

國際扶輪社 3510 地區  
高雄中興扶輪社  
社長　莊金龍 CARTON 敬賀  
2003、6、7

敬愛する日本福岡北ロータリークラブの村上泰之会長並びに、会員の皆様へ貴クラブの創立二十周年記念「成人式」、おめでとうございます。  
今日、私がここで台湾高雄中興扶輪社社長として皆様に心からご祝福できることは私にとってとても光榮なことでございます。  
福岡北ロータリークラブは数え切れないほどのまばゆく輝く、多くの功績を積まれ、社会各階層に認められ、また、同じく他のロータリークラブからも尊敬されているクラブです。これは貴クラブ各位の誇りであると同時に私達にも同じように名誉な事です。  
ロータリー最終の目的である、人と人の関係を改善し、さらに美しく平和な社会を創造することは、まさに今日、貴社の創立二十周年「成人式」で「青少年育成　育てよう思いやりの心」をテーマとして行なわれた各種の記念活動と一致します。  
この事は、今年のロータリーターゲット「慈愛の種を播きましょう」と同じように、人々の心根の深い善意を喚起し、形而上から形而下へ、その奉仕の理想を発揚します。しかし、人間の相互信頼と友情に基づかなければ、発揚することができないと思います。人々の力を集めてこそ、いかなる困難も怖くありません。これは、我々の目標です。即ち、皆の意志と知恵と力で、世界人類の生活の質を増進していく大同世界をつくることです。

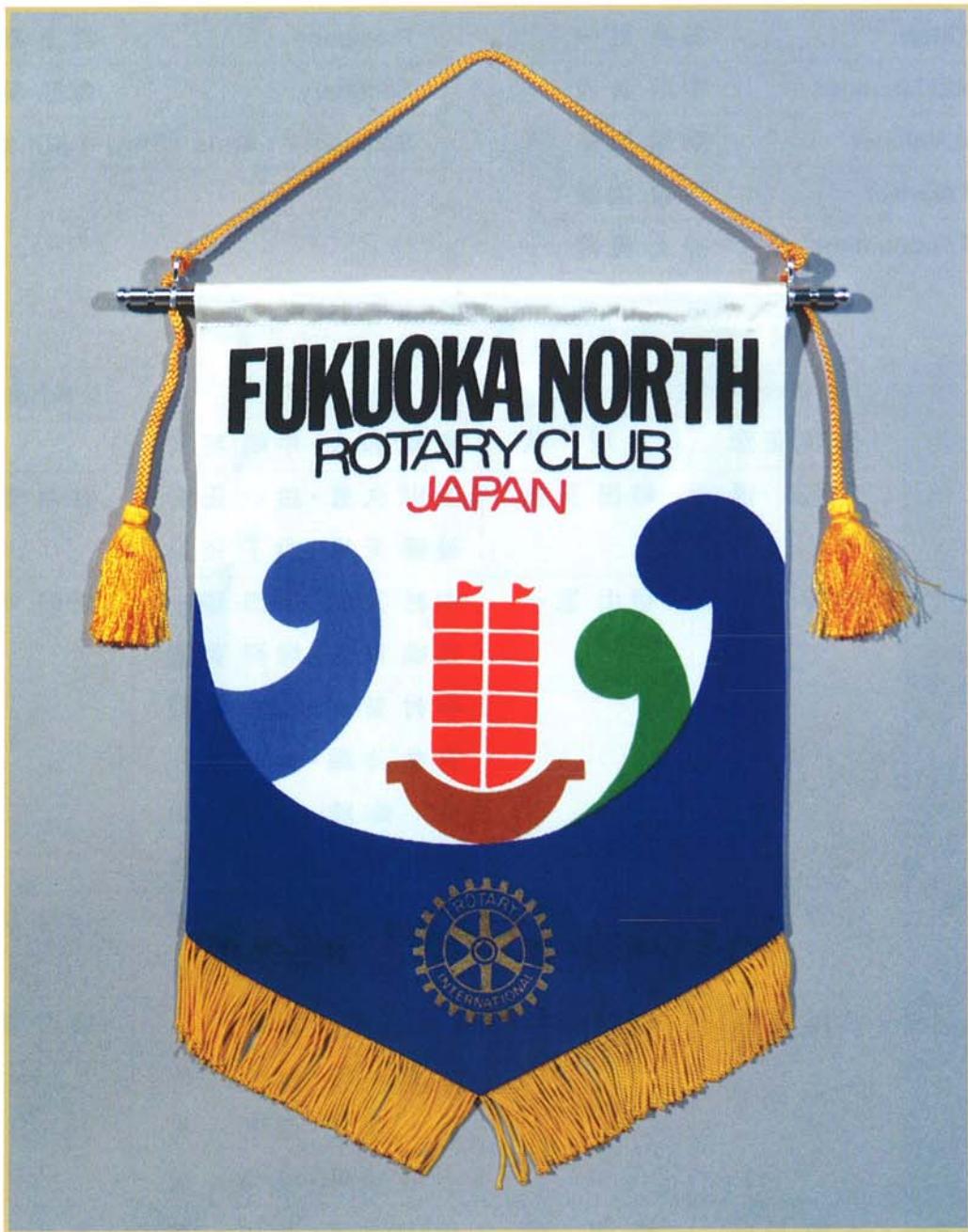
高雄中興扶輪社と貴クラブは姉妹クラブを締結してから既に7年になっています。この間、双方両クラブの先輩達が育成した心と心の結合や文化芸術の交流などを通して、とても有意義かつ親密で磨滅することができない足跡を残しています。

皆様のご健康とご多幸を祝福します。また、創立二十周年記念「成人式」が円満に成功するように祝福しております。

国際ロータリークラブ 3510 地区  
高雄中興扶輪社  
社長　莊　金龍 CARTON 敬賀  
2003年6月7日



## 福岡北ロータリークラブ・バナー



このバナーは、玄界灘の波と、博多の貿易や商業に重要な役割を果たした遣唐船を表現したものです。古来から博多は大陸との文化、経済のクロスロードとして発展してきました。福岡北ロータリークラブのバナーも、私たちのなりわいを通して、明日の福岡の発展のために貢献できる精神（こころ）を受け継いでいこうという意味を込めたものです。

## Fukuoka North Rotary Club The 20th Anniversary Project Team

### 福岡北ロータリークラブ創立20周年記念事業組織図

Chair Man	三島 計一
General Manager	中西 勇次
Commissioner	荻原 弘章
Chief Adviser	木曾 信重
Chief Accountant	井上 義隆

President	村上 泰之
Secretary	貞弘 賢治
Sergeant-At-Arms (SAA)	小副川 浩二

部 会	Chief Director	Director	Staff	Adviser
総務	矢野 正彦	大塚 弘	宮崎 和人・中嶋 利文	
記念誌	久保田 通	植田 正男	玉川 久雄・白石 正彦 後藤 元継・山下 裕彦	森本 茂雄
式典	篠崎 勝信	楳山 憲一	中村 正義・山田 隆一 三嶋 隆夫・城戸 英喜 中村 智寛・堤 美芳 奥井 洋輝・森 陽一 泊 義雄・日下部 隆史 柳原 健良・市川 清貴	岩崎 明弘
出席受付 名簿関係	中野 正彬	井植 浩雄	重田 和彦・浦 洋一郎 山下 幸久・入江 啓輔	福地 祐一
祝宴	長田 吉弘	川口 勝延	光安 直樹・武富 一三 古川 毅・金納健太郎 井上 觀光・湯浅 一男 小出 和男・松本 修	森山 武生
記念事業	大浦 純平	勝浦 勝	鐘川邦次朗・徳田 昇 井上 賢司・小林 憲治	葉山 孝
司会	Announcer 梶原 正成	Assistant 重松 正信	松崎 裕之・清流 信	

Office Staff 大田 玲子

## 『青少年育成 育てよう思いやりの心』

「木を育てるより、人を育てよう。」 私達は1983年、この理念を持って発足し、活動してきました。この崇高な理想に対しての活動は、一滴の雫でしかありません。そこで創立20周年を期に、一滴を二～三滴にして行かねばならないと考えて、「青少年育成 育てよう思いやりの心」をテーマに掲げ、記念事業をすることにしました。

最近の新聞やTVでは青少年の「いじめ」「キレる」「無気力」など、荒れる少年達のことが目につき、人のことはどうでもよいという自己中心の気風が蔓延しています。

そこで少年達に、人のことを思いやり、自分を大切にする気持を持ってもらい、そして日本人の誇りを持ってほしいと願いました。

こんな気持ちで、記念事業として小冊子「子どもたちへ、歴史に学ぶ思いやりの心」を福岡市教育委員会の多大なご協力を得て、13,000冊を発刊し、市内の全小学校144校に贈呈することにしました。また、心身障害者小規模作業所の支援と高齢者施設等へのボランティアを応援することにしました。

日本の心、そして日本人の誇りの火を消すことなく、未来への遺産として伝え、煌輝く、思いやりのある青少年達を育てなければならないという思いです。

Commissioner 萩原 弘章

## 事業テーマ「育てよう 思いやりの心」

基本的は正義感や  
善意といふものか  
片隅に追込め、これで  
寂しい人うのけでアカ  
このよくな直派を本と  
巡じて 次の世代の  
人達に心の中で伝  
て行きねば、まうみどを  
大人達は自覚しき  
もゆきり。 ほほ詮  
物語や心の中残  
るものなふす。 実う  
大きさもゆきり。



題字の「子どもたちへ」を書いて頂いた森川徹氏が筆をとるに当たり、思いを馳せたお気持ちです。

### 1. 小冊子「子どもたちへ」－歴史に学ぶ思いやりの心－ 発刊贈呈事業

歴史に刻まれた日本人の数多くの善行の中から国際貢献に関するもの、福岡にゆかりの深いものをそれぞれ3話ずつ選りすぐって小冊子を刊行致しました。

執筆はこの方面に造詣の深い太宰府高校の占部賢志先生にお願いし、編集に当たっては福岡市教育委員会のご指導を頂戴しました。また、絵心のある当クラブの会員が挿絵を入れました。

13,000部作製し福岡市内の全小学校に贈呈します。この冊子は個人へ贈呈ということではなく、各校の所蔵としていただき、毎年六年生に読み継いでもらうことができたらと考えています。

さらに、今後、当クラブ青少年奉仕委員会の継続事業として感想文コンクールを呼びかけ、この冊子への関心を喚起していきたいと思っています。

この冊子が、将来の日本を託す子どもたちの心の糧として大切に読まれることを心から願っています。



夢も五ヶ八は理想で  
和達仲間の実行の  
記録です。実に書か  
し物語ります。  
活動、感想の連続  
で読み終わらぬと  
爽快な気分になります。  
また、いつか繰り返  
和達れも出来ること  
はと思いまる。こんな  
力を元から与えられ  
くると思いまる。繰り  
返しますが和達仲間の  
真実の行動なのです。

## 2. 心身障害者小規模作業所（無認可）支援と 福岡友の会ボランティア活動協力の複合支援事業

心身障害者小規模作業所とは、障害者の方々の日中の介助や社会参加促進のために軽作業訓練を行い、その製品をわずかであります利用者の収入につなげようと機能している施設で、認可(公的)授産施設の不足を補完する役割を果たしています。

無認可であるが故に公的補助が極端に少ないと、景気が悪いが故に受注が少ないと等で経営は大変苦しく、十分な活動ができない現状であります。

今回、これらの作業所へ介護用エプロンとフキンを発注することで作業所運営の活性化に資することができればと、この事業を企画しました。

また、製作された品を「福岡友の会」が行っている高齢者施設等へのボランティア活動に役立ててもらうべく寄贈することにしました。

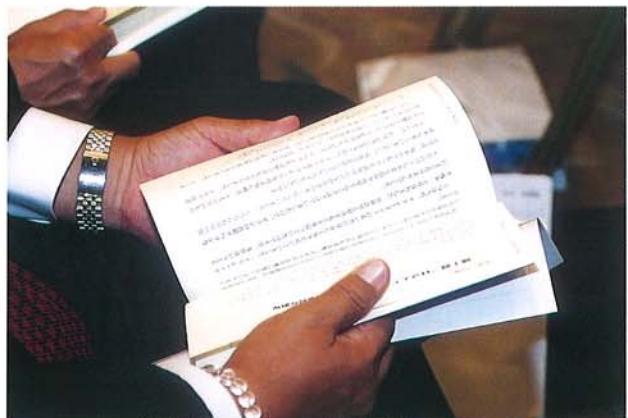
製作に必要なタオルは理容業界よりご寄贈頂いたり、織維関係某社にはエプロンの生地を廉価で提供して頂いたりと、多くの皆様のご協力を賜りました。

この事業についても、今後、社会奉仕委員会での継続事業と位置づけ、支援を続けていきます。

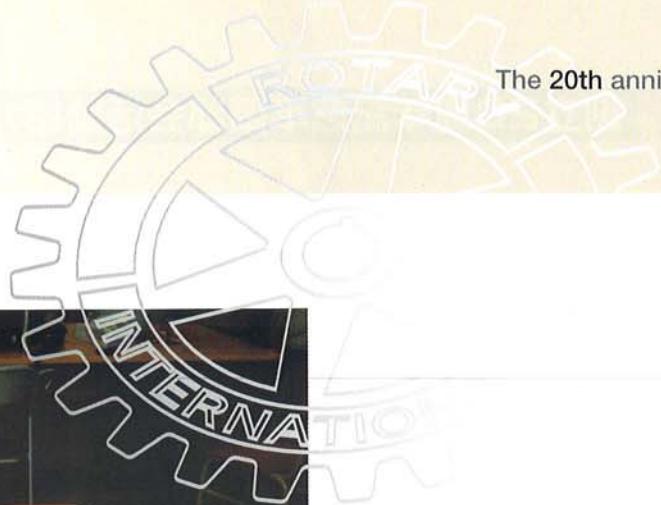
## 創立20周年記念事業のご紹介



### 小冊子「子どもたちへ」 —歴史に学ぶ思いやりの心— 発刊贈呈事業



鐘川 小林 両会員による  
小冊子の挿絵



## 心身障害者小規模作業所（無認可）支援と 福岡友の会ボランティア活動協力 の複合支援事業



でき上がった介護用の  
(エプロン)と(布巾)



## 創立20周年記念準備部会活動紹介

### 実行委員会



### 記念誌部会



### 式典部会



出席受付・名簿部会



祝宴部会



記念事業部会



司会

# 成人式式典ドキュメント



開会まであと数時間。

20周年のお祝いにかけつけてくれた  
ボーイスカウト福岡第14団隊員の皆さんたち。

2003.6.7  
西鉄グランドホテル



そろそろ忙しくなってきた受付周辺。



◎受付



◎物故会員に黙祷

午後5時、司会のアナウンスで会場左手に掲げられた物故者の方々のご遺影にスポットライトが。全員黙祷。

### ◎式典旗入場

セントルイスブルースマーチに乗って、式典旗入場。前後をボーイスカウト福岡第14団隊員に守られて会場内を行進。「旗手は三島 20th 記念実行委員会チアマン、受けるのは村上プレジデント、貞弘セクレタリー」成人式は開会。



### ◎国歌斎唱

荻原コミッショナーの指揮により、国歌斎唱。  
ピアノ伴奏は吉賀貴子さん。

### ◎来賓紹介



### ◎「歓迎の歌」合唱

この日のために皆で練習した、「歓迎の歌」。  
“いらっしゃい、よくおいでくださいました。  
…………いくいく度も” で皆さんを歓迎!

# 成人式式典ドキュメント



◎会長挨拶 村上泰之第20代会長の挨拶。



◎来賓祝辞

来賓を代表して、高木精之ガバナーの祝辞。



◎祝儀舞

舞台はパッと華やかに。  
西崎流九州支部長  
西崎紺扇師匠による  
ご祝儀舞。

◎功労者表彰

村上会長壇上にて、「何人もの会員が地域の為、恵まれない人達のために、地道な努力を続けておられます。ありがたいと思っています。私は北RCの会員の方々全員が功労者と考えています。よって、全会員の皆様に感謝いたします。

◎記念事業の発表

大浦記念事業チーフディレクターのこの取り組みに対する説明。



●第1部：小冊子の贈呈式

福岡北ロータリークラブ創立20周年記念  
『子どもたちへ』著者 占部賢志先生  
この本13,000冊を福岡市の全小学校144校に贈呈。  
目録が村上会長から福岡市教育委員会理事  
段裕明さんへ。

段さんから福岡市立小学校校長会会長 大島弘枝先生へ手渡された。  
(これはさらに学校現場の先生へお渡しし、これを読んだ子供たちの読書感想文の  
コンクールを計画しています。青少年育成のための継続事業として青少年委員会  
で取り組みます。)



●第2部：エプロン・布巾の贈呈式

エプロンと布巾の目録は村上会長から福岡友の会リーダー  
矢野英美子さんへ手渡された。  
(エプロンと布巾は、心身障害者小規模作業所の人達に作ってもらいました。  
それを当クラブが買い取り、高齢者施設等へのボランティア活動も行っている『福  
岡友の会』へ寄贈し、それぞれの施設を応援することにしました。これも継続事  
業として社会奉仕委員会で続けていきます。)



### ◎30周年に向けて

「これからもクラブの理念とテーマ  
“育てよう思いやりの心”を胸に  
刻み会員一同、次は30周年を目指してがんばっていきます。」



### ◎「上を向いて歩こう」合唱

全員で「上を向いて歩こう」の合唱  
ピアノ伴奏は吉賀貴子さん。

### ◎津軽三味線の演奏

合唱が終わると隣の祝宴会場から、津軽三味線の響き!  
演奏は大石秀治さん他2名の方々



### ◎乾杯 木曾チーフアドバイザーの発声 「カンパ～イ」

これからいよいよ祝宴に移ります。

### ◎博多金獅子太鼓の演奏と舞



### ◎閉会

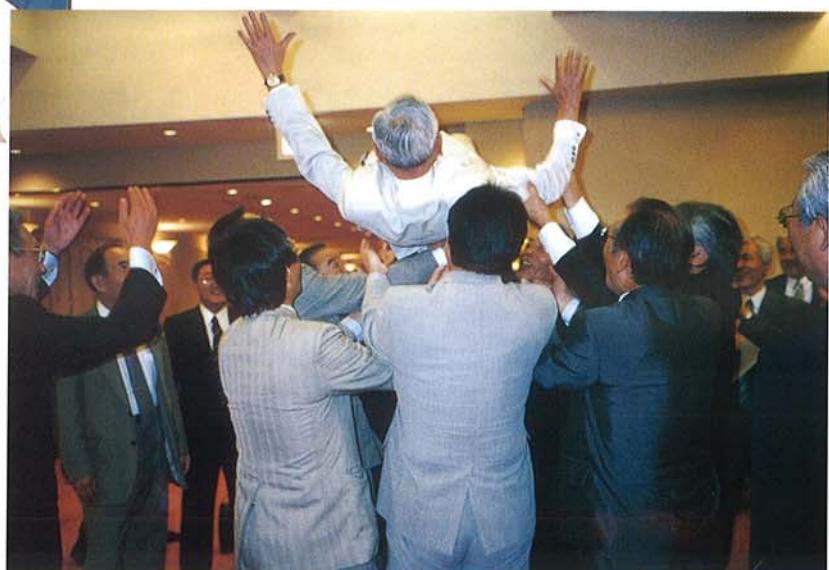
貞弘賢治幹事による 博多手一本

## 式典・祝宴スナップ





## 式典・祝宴スナップ



## The 20th anniversary





# 20周年記念事業 地域報道される。



6月7日(土)式典当日の  
「TNCテレビ西日本」24:00  
「すぽると&ニュース」で放映

西日本新聞 2003年(平成15年)6月27日 金曜日

野中氏の信念  
子らに伝われ  
倉掛 聖子 69

六月十六日付の本紙  
「春秋」に、福岡市出身  
の野中到氏夫妻のことが  
出ていて、とてもうれし  
かった。私の尊敬する一  
人である野中氏は、富士  
山頂に自分で気象観測所  
を建て、冬季観測を命懸  
けで成功させた。昔、教  
科書に一部が載つて  
て、その後、新田次郎著  
『芙蓉の人』で全容を知  
り感激した。

ほかにもいろんな人が  
出ている冊子を、太宰府  
高の教諭が執筆され  
たりークラブが創立記  
念に出版して、市内の小  
学校などに配られるとい  
う。

今、日本人は何だから  
信を失っているようだ。  
思いも及ばない犯罪が起  
きたりして、心を暗くし  
ている。せめて人類の誇  
りを持って、人らしく生  
きたい。お金を稼ぐばか  
りが能ではない。

配られた冊子を読  
んで、子どもたちが信念を  
貴くことはとても大切な  
ことだと感じてくれた  
ら、日本の将来はもっと  
明るくなるだろう。

(福岡市南区・主婦)

こだま

西日本新聞 2003.6.27 朝刊

第3種郵便物認可

享月

四

美行

# 歴史・郷土に关心を そして思いやりの心を

著者は県立太宰府高校教諭の占部賢志さん(52)。6部構成している。1部の「世界と日本」では、1890(明治23)年、和歌山県沖で遭難したトルコ船の乗組員を島民が決死の覚悟で救助し、大正時代には日本赤十字社がボーランド人孤児765人を救つたことを紹介。ともに数十年後、両国民の交流につながつたとしている。

2部の「郷土再発見」では、1868(69)年(明治1~2)年の北海道・箱館の五稜郭の戦いで、赤十字活動の精神を実践した小都市出身の医師

高松凌雲や、冬の富士山頂で気象観測に挑んだ福岡市出身の野中赳、千代子夫妻を紹介。勇気ある行為が今の指針となっている、と伝えていく。

占部さんは「今の子は人物への関心が希薄のようだが、歴史には素晴らしい話がある」と語る。

占部さんは「今年夏、占部クラブは昨年夏、占部さんを定例会に招き、歴史教育などの話を聞く、執筆を依頼した。冊子はA5判、107頁。1万3千部発行した。

## 児童向け教諭執筆

福岡市の福岡北ロータリークラブ(村上泰之会長、64人)が、創立20周年の記念冊子「子どもたちへ、歴史に学ぶ思いやりの心」を発行した。日本人の献身的な行為が世界の人たちの心をとらえた例や県人の一途な努力を、小学校高学年向けに分かりやすく説明している。7日、市内のホテルで開く記念式で披露し、市内144の全小学校と義務学校3校に配る。

### 福岡北ロータリー記念冊子



「無名の人の生き様からも、思いやりの心を学べる」と話す占部教諭=太宰府高校で

## 創立20周年記念事業の各メディアの報道

(第三種郵便物認可)

2003年(平成15年)6月7日(土曜日)

言葉

福岡北ロータリークラブ

# 歴史に刻まれた日本人の誇り 20周年の記念本出版



寄贈する本の完成を喜ぶ占部さん(中央)ら

## 市立の全小学校などに贈る

助け、その九十五年後のイラン・イラク戦争の際に、イランからの日本人脱出にトルコが協力した「エルトウール号救出の物語」など、国際交流に貢献した人たちを描いたものが三編。残る三話は、明治の中ごろ、厳冬期の富士山頂で気象観測に挑んだ福岡出身の野中到と千代子夫妻の物語など、郷土の人たちにまつわる内容だ。

各校に一クラス分約四十冊を贈呈。クラスごとの集団読書に活用してもらい、

難破した外国船の乗組員を救うために、嵐の中でけが人を背負って断崖を登った人たちがいた。厳冬期の富士山頂で、冷氣と闘いながら気象観測を受けた夫婦もいた――。

こうした歴史に刻まれた日本人の誇りとなる話を集めた本を、福岡市の福岡北ロータリークラブ(村上泰之会長)が出版。同市立の

チルドレンズ・ブック

事業を検討。「植樹や、バ

ス停へのベンチやごみ箱設

置などの案も出たが、

木育てるより、人を育てよ

う」という創立の理念に立

た。

内容は、一八九〇年(明

治二十三年)、和歌山県沖

で遭難したトルコ軍艦の乗

組員を近くの島の人たちが

い」と話している。

難破した外国船の乗組員を救うために、嵐の中でけが人を背負って断崖を登った人たちがいた。厳冬期の富士山頂で、冷氣と闘いながら気象観測を受けた夫婦もいた――。

こうした歴史に刻まれた日本人の誇りとなる話を集めた本を、福岡市の福岡北ロータリークラブ(村上泰之会長)が出版。同市立の

チルドレンズ・ブック

事業を検討。「植樹や、バ

ス停へのベンチやごみ箱設

置などの案も出たが、

木育てるより、人を育てよ

う」という創立の理念に立

た。

内容は、一八九〇年(明

治二十三年)、和歌山県沖

で遭難したトルコ軍艦の乗

組員を近くの島の人たちが

い」と話している。

占部さんは「六年生にはやや難しいかも知れない。関連事項を自分で調べるなり、読書サークルなどから要望があれば、贈呈も考へる」。

占部さんは「六年生にはやや難しいかも知れない。関連事項を自分で調べるなり、読書サークルなどから要望があれば、贈呈も考へる」。

読売新聞 2003.6.7 朝刊



西日本新聞 2003.6.7 朝刊

子ども向け読本  
福岡北口JC作製  
小学校に配布へ

福岡北口JC作製  
福岡市中央区、村上泰之会長（福岡市中央区、村上泰之会長）は、小学六年生向けの歴史読本「子どもたちへ—歴史に学ぶ思いやりの心」を一万三千部作製し、同市内の全小学校に配布する。

読本（A5判、百三六頁）は、クラブ創立二十周年を記念して作られた。将山で気象観測に挑んだ野明治時代に敵冬の富士生向けの歴史読本「子どもたちへ—歴史に学ぶ思いやりの心」を一万三千部作製し、同市内の全小学校に配布する。

福岡北口JC作製  
福岡市中央区、村上泰之会長（福岡市中央区、村上泰之会長）は、小学六年生向けの歴史読本「子どもたちへ—歴史に学ぶ思いやりの心」を一万三千部作製し、同市内の全小学校に配布する。

福岡北口JC作製  
福岡市中央区、村上泰之会長（福岡市中央区、村上泰之会長）は、小学六年生向けの歴史読本「子どもたちへ—歴史に学ぶ思いやりの心」を一万三千部作製し、同市内の全小学校に配布する。

## 先人の業績、歴史学ぼう

タリーカラブ || 092  
(715) 60660。

もたちへ—歴史に学ぶ思  
いやりの心」を一万三千  
部作製し、同市内の全小  
学校に配布する。

物にした。明治時代に敵冬の富士  
生向けの歴史読本「子ども  
たちへ—歴史に学ぶ思  
いやりの心」を一万三千部作製し、同市内の全小  
学校に配布する。

福岡北口JC作製  
福岡市中央区、村上泰之会長（福岡市中央区、村上泰之会長）は、小学六年生向けの歴史読本「子どもたちへ—歴史に学ぶ思いやりの心」を一万三千部作製し、同市内の全小学校に配布する。

福岡北口JC作製  
福岡市中央区、村上泰之会長（福岡市中央区、村上泰之会長）は、小学六年生向けの歴史読本「子どもたちへ—歴史に学ぶ思いやりの心」を一万三千部作製し、同市内の全小学校に配布する。

福岡北口JC作製  
福岡市中央区、村上泰之会長（福岡市中央区、村上泰之会長）は、小学六年生向けの歴史読本「子どもたちへ—歴史に学ぶ思いやりの心」を一万三千部作製し、同市内の全小学校に配布する。

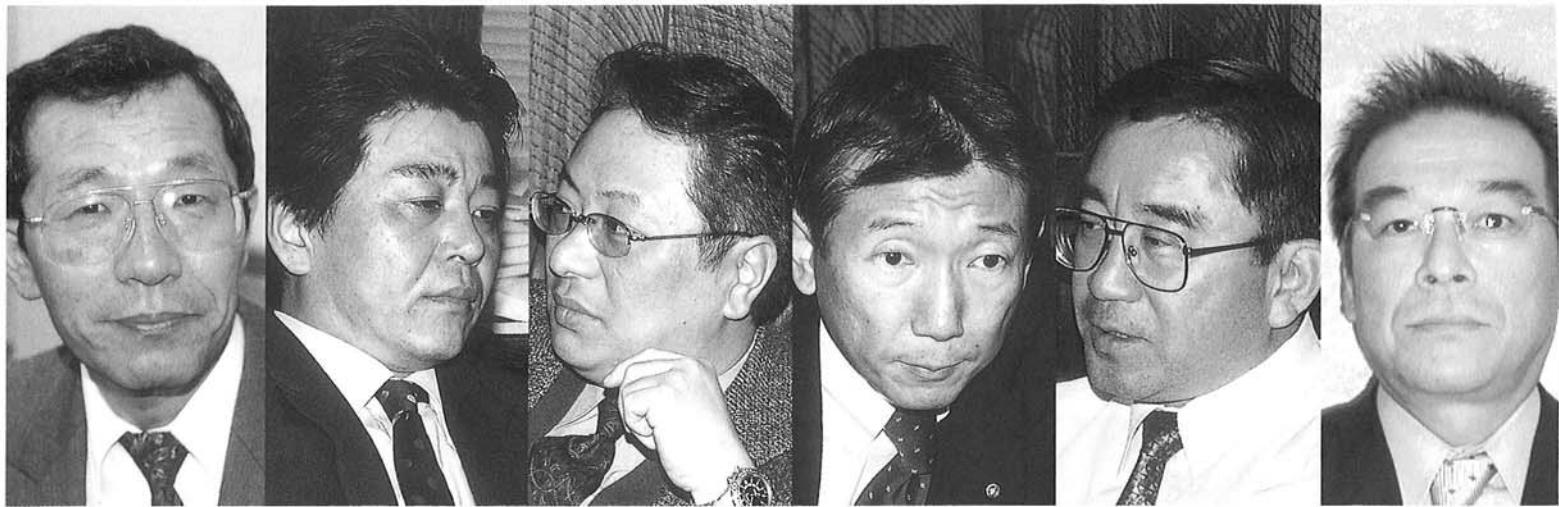
福岡北口JC作製  
福岡市中央区、村上泰之会長（福岡市中央区、村上泰之会長）は、小学六年生向けの歴史読本「子どもたちへ—歴史に学ぶ思いやりの心」を一万三千部作製し、同市内の全小学校に配布する。

## 春秋

若い人、とくに  
自分が生まれた  
町や村のこと、  
古里が生んだ人  
たちのことを、どれくら  
い知っているだろう。▼明  
治時代に野中到といふ男  
がいた。いまの福岡市で  
生まれ育った。一八九五  
(明治二十八)年、自分  
のお金で富士山頂に気象  
観測小屋を建て、観測を  
始めた。二十九歳の冬だ  
つた。▼天気を正確に予報  
するには、できるだけ高  
い場所で、極寒でも観測  
データを収集しなければ  
ならない。国には資金の  
余裕がなかつた。「だつ  
たら自分が」と日本一高  
い山での挑戦を思い立つ  
た。▼風力計も凍りつくほ  
どの寒さのなか、しかも  
ひとりぼっち。体を気づ  
かう二十四歳の妻千代子  
は、じつとしておれなく

「千代子がいなければ  
生きなかつた」。そう思  
った。▼以上、冊子「子  
どもたちへ—歴史に学ぶ  
思ひやりの心」の一節。  
福岡県立太宰府高の占部  
賢志教諭が執筆した。  
「胸にしまいこんだ日本  
人の誇り」(冊子から  
小学校などに配られる。

西日本新聞 2003.6.16 朝刊



写真左より、森 陽一、重松正信、井槌浩雄、大塚 弘、梶原正成、泊 義雄

## 創立20周年記念座談会

# 30周年へのとびらを開けよう。

日 時 平成15年1月10日（金）午後6時30分

場 所 ホテル・ニューオータニ博多「千羽鶴」

出席者 梶原正成、大塚 弘、泊 義雄、森 陽一、井槌浩雄、重松正信

会場設営 久保田通（記念誌部会チーフ）、植田正男（同副チーフ）

**久保田** 本日はご多忙のところお集まりいただきありがとうございます。20周年記念誌委員会では、座談会を行うことでその内容を検討してきました。10周年記念誌は、クラブ発足時から振り返った座談会となっています。そこで今回は、今後の福岡北RCはどうあるべきかを考えることにしました。即ち、10年後・20年後のクラブを担う若い会員を中心として座談会を行い、今後のクラブ活動の将来について大いに語っていただこうと思いました。30周年へのとびらを開けていただきましょう。司会・進行役は梶原さんにお願いします。

## ■入会のきっかけ

**梶原** 私が入会歴が最も古いことから、進行役を務めることとなりました。テーマが大きいので、まず身近なところからお聞きしたいと思います。福岡北RCへの入会は自分から積極的にアプローチして入ったのか、それとも他人から勧められて入ったのかからお聞きしましょう。（48才、1989年4月入会）

**重松** 私の仕事上の先輩の貞弘さんから勧められて入会しました。もっとも、ロータリーに興味はありましたし、違う業種の方々の意見を聞きたいと思っていましたので、進んで入





れでいただいたように思っています。

(41才、2001年10月入会)

**井植** 私は、勝浦さんに勧められて入会しました。ロータリーは企業のトップや一流の方が多数いらっしゃるので、自分でもよいのかなと思いつつ、恐れ入って入会したという感じでした。

(46才、2001年9月入会)

**森** 私の亡くなった先代社長が福岡北RCの会員でした。中西さんに誘われ、物事は勧められたときに入らないといけないというのが私の信条であり、入会しました(本日は発熱を押しての出席です)。(48才、1999年11月入会)

**泊** 知人より中西さんを紹介してもらって入会しました。(46才、1998年9月入会)

**梶原** 私は34才のある日、取引先の役員から呼ばれ、有無を言わせず入会となりました。さらに入会15年後には、49才つまり40代でシニアになれると思って楽しみにしていましたが、昨年の規定審議会での定款規則の変更にともない、シニア制度がなくなって残念です(笑)。

**大塚** 私は、父の友人である篠崎さんの紹介です。父の代から保育園の検査をしていましたので、それで、このロータリーに誘いを受けました。

(44才、1991年3月入会)

## ■入会してよかったです?



**梶原** 皆さん、入会についての経緯は、濃淡はあっても会員からの勧誘がきっかけとなっているようですね。そこで次に、入会されて良かったでしょうか。

**大塚** 私は入会して会員名簿を見て、こんなところに入るんじゃなかった、と思いました。それで、しばらくは例会に出席したくなかったですね。金曜日になると憂鬱でした。

**重松** そうなんです。実は、僕も入会して1年ちょっとになりますが、いまだに緊張しています。とはいっても、例会出席は、結構気晴らしになっています。そこで、金曜日は人と会う仕事を入れないようにしています。

**井植** 私は高校生のとき、ロータリーの交換留学生としてオーストラリアに行き、現地のロータリーの例会に出席しました。当時のイメージから、私も入会当初は緊張して例会に出席していました。それから、私の歯科診療所は姪浜駅前にありますので、例会場までは20～30分で来られますので、例会への出席は苦痛ではありません。日頃は白衣を着ているのが、一週間に一度ネクタイを締め、おしゃれをして外出するのがよい気分転換になり、楽しんでいます。

**梶原** なるほど、ロータリーは気分転換をさせる、そういう効用もあるんですね。企業人の私と

# 創立20周年記念座談会

しては、ネクタイをはずしたいと思っているのですが。

**森** 私は、入会して良かったと思います。これまでと違う人・世界に接することができ、知り合いの輪が拡がりました。また、地方に行って会合に出てもロータリアンということで交流の輪を広げることもできました。

**泊** 私は、入会したもののは半分近くは闘病生活を送っています。まだ緊張していますね。

**一同** 泊さん、元気になって本当、良かったですね。

**井植** 「ロータリーは紳士の集まり」と聞いていました。入会して日が浅いためロータリー精神はまだ理解しているとは言えませんが、目立つ行動ということではなく、各人ができることから着実にやっていると思います。本当にいいクラブに入ったと思っています。

**梶原** そんな難しい話でなくとも、現実的メリットもありますよ。私は、バブル時にある名

門ゴルフクラブの入会審査の際、私がロータリアンであることを話したら、厳しいはずの入会審査が即OKとなりました。ロータリークラブは、地域社会での認知度が極めて高いことを改めて実感しました。

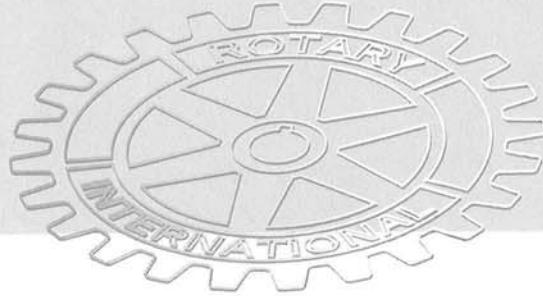
## ■出席義務

**梶原** ロータリアンの重要な義務として出席義務がありますが、どう思われますか。

**井植** 入会の際、葉山さんからオリエンテーションを受けましたが、ホームクラブには、6割は出席していただきたいがそれができますかと言われました。同業の中西先輩や久保田先輩が100%出席を続けていると聞き、私も今期は100%を目指してがんばっています。

**泊** しかし私は、会員増強のため何人かの方に入会の勧誘をしましたが、毎週出席が入会の





ためのネックになっています。

**大塚** 確かに、出席義務が厳しいのはそのとおりですが、最近メーキャップが前後4週間できるようになって、随分と楽になりましたね。海外旅行や急な事件がおきてもカバーできますね。

**井植** 亡くなった父もロータリアンでしたが、歳を取ってからは「例会出席できるのは、私の健康のバロメーターだ」と何よりも大切にしていました。メーキャップもすごく楽しんでいました。

**森** 100%出席は、久保田さんが幹事の時から5年も続いています。大変なんですね。本音のところ誰か止めてくれませんか（笑）。

**泊** 確かに100%出席は厳しいと思いますが、これがはずれるとずるずると出席しなくなるのではないかですか。

**大塚** わがままを抑えるのもロータリーの魅力だと思います（一同うなずく）。

ここで岩崎さんの後任としてライラ地区委員との話があったときも引き受け、結局6年間務めました。

**泊** ところで、ライラって何ですか。

**大塚** ライラの誕生は1959年、豪州クイーンズランド州の自治権獲得100周年記念祝賀会に英国のアレクサンドラ王女が女王名代として派遣された時、王女と同年代の青少年達を招いて王女と会う機会をつくろうという計画が持ち上がり、ブリスベーン・ロータリークラブがそのホスト役をつとめました。全豪から集まってきた青年リーダー達の資質の良さに感心したロータリアン達は、この催しを毎年行うことにはじめ、第260地区（現在の963地区）でライラが誕生しました。私達の地区では、1980年に故新家パストガバナー（当クラブのチャーターメンバー）がガバナー時代にライラを提唱されました。それで、我がクラブでは創立以来、青少年奉仕活動として特にライラには力を入れて来ています。

**梶原** さすがに、ライラの地区委員を6年務めただけに、詳しいですね。

**井植** ライラというと実は、私がオーストラリアとの交換学生の時に現地でライラにも出ました。本場のライラだったんですね。

**梶原** ライラの活動はどのように生かさせてい るんですか。

**大塚** 例年4月に1泊2日で、18才から30才までの青少年を集めて、将来の指導者養成を行

## ■ロータリアンとしての活動について

**梶原** ロータリアンとしての、皆さん今までの活動はどうですか。

**大塚** 私は、初めての委員長がライラ委員会でした。昔福岡北RCを創立した平野特別代表から、ロータリーでは頼まれたら断ってはいけないと言われたことをよく覚えています。そ

# 創立20周年記念座談会

っています。そのため企業の社員教育としても利用されています。また、お世話するロータリアンにとっても、寝食を共にするため、他のクラブの会員と友好を深めたり、情報交換などに役立てています。

**井植** 昨年2月、青少年奉仕委員会で福岡第14回ボーイスカウトの夜間ウォークラリー60kmに挑戦しました。子供達は良く鍛えられていてすばらしい健脚ぞろいでした。今後も参加して、体力に挑戦し続けます。

**梶原** 本年度はゴルフ同好会以外にも同好会ができましたが、皆さんどこに所属していますか。

**井植** ゴルフ同好会です。旅行同好会と合同の玉名温泉一泊ゴルフコンペでは、相部屋の方をイビキで悩ませましたが、非常に楽しかったです。

**泊** マージャン同好会も昨年12月に第1回を開きました。私自身も10数年ぶりにパイを握りましたが、参加者は皆楽しまれていました。

**大塚** ゴルフ同好会に入っていますが、名前だけの会員となっています。復帰しないと、と思いながら時間がかかっています。

**森** 私は、あまりたたくと皆さんに申し訳なくて。それとチョコレートのやりとりには何となく抵抗があります。



## ■現在の福岡北RCについて

**梶原** 現在の福岡北RCの雰囲気をどう思いますか。

**重松** 肩肘張らずに気楽に出席できます。ただ、女性会員がいないのが不思議に思います。

**梶原** 女性会員の問題は後で取り上げたいと思います。

**井植** 例会場のセントラルホテルに駐車場がなく不便な点もありますが、福岡北RCの例会は、溶け込みやすく好いのではないかでしょうか。

**森** 多士済々の会員がいて良い雰囲気だと思います。テーブル会もよく開かれますが、会員の意外な面を知ることもでき、毎回楽しみに出席しています。

**大塚** 今の雰囲気は大好きです。自分達の世代を集めて今回のような座談会をやるという現在のクラブの雰囲気は、自分達が頑張らなければという気持ちにさせてくれます。





- 梶原** こここのところ新入会員が多数入られました。また、本年度は同好会もたくさんできて、クラブの雰囲気が随分変わったと思います。
- 泊** 会員数としては今くらいが一番いいのではと思います。もっとも退会者が出るので、常に会員増強は必要だと思いますが、100名もいるようなクラブは考えられませんね。
- 梶原** 委員会の配属・経費や収入などクラブ運営上は70人くらいいると楽といわれています。

## ■女性会員問題

- 梶原** 女性の入会については、皆さんどう考えていますか。
- 重松** 私は、どうしてこのことが問題となるのかが分かりません。仕事をする上でも周囲には多数の女性がいますし、RCに女性会員がない方がむしろ不思議な気がします。
- 大塚** 6年前くらいに女性入会問題が起き、会員の意見が割れ、その後遺症がまだ残っています。女性の入会は、しばらくは難しいのでは。
- 泊** 女性の入会者があると今の会の雰囲気が変わることになる。私自身は今まで良いと思います。
- 井植** 男だけの集まりがあっても良いのではと思っていますので、女性のロータリアンというのは、出来れば、ご遠慮願いたいですね。
- 梶原** RIのこともありますが、クラブは私達の

クラブですから、現状でやれるなら、今までもいいのではないか。

- 久保田** 本日は若い会員の集まりなので、女性入会の賛成論が多いと思っていたのに、意外や重松さんだけなんですね。

## ■今後の福岡北RC

- 梶原** これから先、福岡北RCにはこうなって欲しい、こうすればさらに素晴らしいクラブになるんじゃないかな、という点について皆さんのお考えを聞かせて下さい。
- 重松** 今回の会の雰囲気はいいので、このまま続けていけたらと思います。
- 森** 30年代・40年代の方に、クラブ入会をお説いても「業務多忙で」とか、「毎週の出席義務が難しいので迷惑をかける」とかで会員増強もなかなか難しいものですね。また、新会員や若年会員に対してはロータリアンとしての素養、例えば奉仕の理想についてとか疑問点に対して気軽にアドバイスを受けられるシステム作りが福岡北RCの発展及びロータリーの精神を継承するためにも必要なことだと思います。

- 井植** 昨年、高雄中興RCの周年行事に参加しましたが、中興RCとの関係は、行ったから来て貰う、来て貰ったから行くだけではどうかな、と思います。台湾の地震の時は救急車を送ったと聞いていますが、何か共同して社会奉仕

## 創立20周年記念座談会

活動をするとか、一緒に何かをやって友好を深めることも考えていいんじゃないでしょうか。

**泊** その意味では、海外のクラブだけではなく、国内のクラブとの姉妹提携もあっていいんじゃないでしょうか。福岡城東RCは、壱岐RCと相互交流を行っているようですが、我がクラブも、例えば遠方の「北」クラブと姉妹提携してはどうでしょうか。

**井植** それと、今後会員の高齢化が進んでいくと思いますので、ウォーキング等は年齢に関係なく出来るスポーツですから、同好会でも作って親睦と健康増進を図ってみるなんてどうですか、ボーイスカウトの子供たちと一緒に歩くのも好い事だと思います。

**森** それから、会員卓話がもっとあっていいと思います。せっかく立派な会員がおられるのにもったいないと思います。親近感もわいて、会員相互交流・親睦にもつながると思います。

**大塚** 私は今の福岡北クラブは親睦を深めることに力を入れている、これがクラブの活性化につながっていると思います。これからも続けて欲しいです。

**梶原** RCでは新しいプロジェクトを次々に立ち上げていますが、マンネリになっているものもあります。これを整理してもう少しシンプルにすることが必要ではないでしょうか。また、他のクラブと横並びということではなく、自分たちのクラブとして独自性を持つということを心がけることも必要です。RCは究極的には楽しくなければ続かないと思います。

議論はまだまだ続きそうですが、本日はこれで終わりにさせていただきたいと思います。長時間ありがとうございました。



## 福岡北ロータリークラブ創立縁起

福岡地区に新しいクラブを作ろうという動きが、1981年（S56）に高まり、翌1982年（S57）11月に、中牟田ガバナーから、故平野桂樹氏に特別代表の辞令があり、正式に設立準備が始まった。パストガバナーで福岡中央R.C.の特別代表でもあった故新家忠男氏も加わり、その指導のもと福岡城西R.C.から6人の賛同者を得て、この方々がキーマンとなって新クラブの構想が検討された。

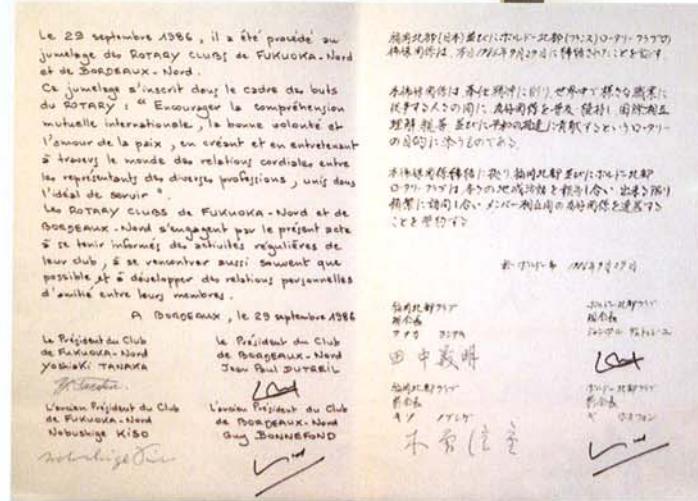
質素で経費をあまりかけず、内容は充実したクラブを作ることになった。運営は簡素でも、ロータリーの精神は高く掲げ、奉仕の理想を求める「手づくりクラブ」福岡北R.C.は50人の会員でスタートし、1983年（S58）6月22日にR.I.の認証を受け、誕生した。

## 認 証 状



# 姉妹クラブ協定書

## ボルドー北RC(フランス)



## 高雄中興扶輪社(台湾)



# 20年の歩みと社会の出来事

年月日	福岡北RC20年の歩み	社会の出来事
S58. 6. 3	北RC創立総会 常盤稔会長・若狭信之幹事就任（1983-84年度）	福岡市営地下鉄1号線開業
6.10	第1回例会	東京ディズニーランド開園
6.22	R1より承認される	
11. 5	認証状伝達式	
S59. 5. 4	RYLAセミナーのホストクラブを務める	グリコ・森永事件
7.	木曾信重会長・上田謙太郎幹事就任（1984-85年度）	
12. 2	福岡第14団ボーイスカウト結団式（チャーターナイト記念事業として）	福岡市営地下鉄博多駅開業
S60. 7.	新家忠男会長・平野桂樹幹事就任（1985-86年度）	つくば科学万博
9.28	270地区会員増強セミナーのホストクラブを務める	日航ジャンボ機墜落事故
S61. 5.	米山奨学生朴鉉諱君の世話クラブとなる	米・スペースシャトル空中爆発
7.	田中義明会長・灰田洋一幹事就任（1986-87年度）	チェルノブイリ原発事故
9.	米山奨学生鄭兆宏君の世話クラブとなる	
9.29	ボルドー北ロータリークラブとの姉妹クラブ協定調印	
S62. 7.	平野桂樹会長・若狭信之幹事就任（1987-88年度）	桑原敬一市長当選
11.22	IGFのホストクラブを務める	鴻臚館遺跡発掘
	交換留学生サクマ・カルラ・ミエさん受入	
S63. 7.	溝部浩三会長・篠崎勝信幹事就任（1988-89年度）	瀬戸大橋開通
11. 3	ボーイスカウト福岡第14団5周年記念式典	福岡ダイエーホークス誕生
	米山奨学生陳奇君の世話クラブとなる	
11.20	IGFのコ・ホストクラブを務める	消費税導入
H 1. 2.	交換留学生ヤマサキ・エリアーネ・ミチコさん受入	昭和天皇崩御
4. 1	第10回ライラセミナーホストクラブを務める（龍光徳寺）	よかトピア博覧会
5.26	ボルドー北RC次期会長ボリデス君例会出席	美空ひばり死去
7.	大塚嘉博会長・宮崎和人幹事就任（1989-90年度）	ベルリンの壁崩壊
H 2. 2. 2	九州日仏学館々長ミシェル・ルーヨ氏名誉会員となる	
7.	本田恵会長・重松勝幹事就任（1990-91年度）	とびうめ国体
H 3. 2.	交換奨学生サクマ・マルセル・イズミ君受入	湾岸戦争
5.	米山奨学生文一智君の世話クラブとなる	雲仙災害
7.	荒木勉会長・中野正彬幹事就任（1991-92年度）	若・貴ブーム、千代の富士引退
H 4. 4.	事務局にFAXが入る	
7.	前田三男会長・高尾勝幹事就任（1992-93年度）	国家公務員・完全週休2日制

# 20年の歩みと社会の出来事

年月日	福岡北RC20年の歩み	社会の出来事
H 4.10.	交換留学生アナバウラサクラメント吉河さん受入	毛利衛さんスペースシャトル
11.	前田会長が病のため葉山副会長が代行を務める	
H 5. 6. 4	創立10周年記念式典	福岡ドーム誕生
7.	葉山孝会長・小副川浩二幹事就任（1993-94年度）	皇太子・雅子さま結婚の儀
	米山留学生車炳玘君の世話クラブとなる	自民過半数割れ・細川内閣発足
8.27	国府敏男ガバナー公式訪問	
H 6. 4.16	第15回ライラセミナー（玄海青年の家）	
4.23	2700地区93-94年度地区大会コ・ホストクラブを務める	村山内閣発足
7.	有田昭穂会長・重岡太郎幹事就任（1994-95年度）	福岡・水不足
9. 2	片岸修次ガバナー公式訪問	
H 7. 3.31	米山留学生車炳玘君終了の挨拶	阪神大震災
4. 1	第16回ライラセミナー（玄海青年の家）	地下鉄サリン事件
4.15	2700地区94-95年度地区大会	
6.	米山特別奨学生呉銘芳君の世話クラブとなる	
7.	宮丸貞三会長・武元和博幹事就任（1995-96年度）	野茂 大リーグオールスター出場
8.11	松田尊文ガバナー公式訪問	ユニバーシアード福岡大会
	青少年バレーボール大会の後援RCとなる	ウインドウズ95販売
H 8. 4.13	第17回ライラセミナー（玄海青年の家）	
4.20	2700地区95-96年度地区大会ホストクラブを務める（アクロス福岡）	キャナルシティ開業
5.24	米山留学生劉偉さんの世話クラブとなる	
6.	子供病院「そらまめ会」に若楠基金から助成金贈呈	福岡空港・ガルーダ航空機炎上
7.	香月隆会長・間直樹幹事就任（1996-97年度）	
	葉山孝会員が2700地区第3分区代理に就任	
7.26	本間四郎ガバナー公式訪問	
9.13	中国語勉強会（講師劉偉さん）始まる	第2次橋本内閣発足
12.13	高雄中興ロータリークラブとの姉妹クラブ協議会（福岡）	ペルー大使館人質事件
H 9. 2.22	96-97年度第3分区・IMのホストクラブを務める（西日本銀行）	
3. 8	高雄中興ロータリークラブとの姉妹クラブ協定調印（高雄）	
	28名が訪台し、調印式、同クラブの5周年記念式典に出席	三井三池閉山
4.11	第18回ライラセミナー（玄海青年の家）	
4.19	2700地区96-97年度地区大会で表彰される 米山功労クラブ賞、ロータリー財団寄附優秀賞、出席優秀賞	消費税5%に引き上げ



年月日	福岡北RC20年の歩み	社会の出来事
H 9. 5.	子供病院「そらまめ会」に若楠基金から助成金贈呈	
6.27	ボイスカウト第14回富士賞授与報告	香港返還
7.	亀崎重則会長・久保田通幹事就任（1997-98年度）	
10.11	RIキンロス会長来福	福岡三越開業
11.14	大屋麗之助ガバナー公式訪問	山一証券自主廃業
H10. 1.23	ポール・ハリス没後50年献花式	
2.27	中国語勉強会最終講座	長野冬季オリンピック
3. 6	ミシェル・ルーヨ名誉会員の離日挨拶 97-98年米山留学生劉偉さん終了の挨拶	
4.	米山奨学生金培懿さんの世話クラブとなる	
4.10	第19回ライラセミナー（玄海青年の家）	
4.25	2700地区97-98年度地区大会 出席優秀賞、米山功労クラブ賞を受賞	福岡県で初の女性副知事誕生
6. 5	15周年記念式典	小渕内閣発足
7.	森本茂雄会長、矢野正彦幹事就任（1998-99年度）	和歌山毒物カレー事件
7.24	「パソコン教室」始まる 於NTT西新営業所	福岡県人口500万人突破
11. 6	菅正明ガバナー公式訪問	山崎広太郎市長当選
H11. 2.	事務局にパソコンを設置 金培懿さんによる中国語講座始まる	
3.12	高雄中興RC7周年記念式典9名参加	
4. 9	第20回ライラセミナー（玄海青年の家）	
4.17	2700地区98-99年度地区大会 出席優秀賞・ロータリー財団寄付優秀賞を受賞	博多座開業
6.	例会出席100%を達成	福岡玉屋廃業
7.	三島計一会長・大浦純平幹事就任（1999-2000年度） 週報がB5からA4に、またパソコンによる手作りになる	初の脳死移植手術
7. 9	中村善一ガバナー公式訪問	台湾地震
11.28	台湾地震被災地への救急車贈呈式（三島会長出席）	ダイエーホークス優勝
H12. 3.24	米山奨学生金さん学位取得・送別会	
4. 7	第21回ライラセミナー（玄海青年の家）	有珠山噴火
4.	2700地区99-2000年度地区大会 出席優秀賞・会員増強優秀賞を受賞	小渕首相死亡

## 20年の歩みと社会の出来事

年月日	福岡北RC20年の歩み	社会の出来事
H13. 6.23	100万ドルの食事を実施 (7月より月末例会日)	
6.	例会出席100%を達成 (2年間)	そごう倒産
7.	岩崎明弘会長・吉田征喜幹事就任 (2000-01年度)	
7. 7	大島英二ガバナー公式訪問	先進国サミット(沖縄)
12.22	卓話「20世紀最後の話」	シドニー五輪・高橋(尚)金メダル
H13. 4.	米山奨学生洪英さん(中国)の世話クラブとなる	
4.15	2700地区00-01年度地区大会 出席優秀賞を受賞	狂牛病事件 小泉内閣発足
5.11	慶弔規定をもうける	
6.	例会出席100%を達成 (3年間)	
7.	福地祐一会長・勝浦勝幹事就任 (2001-02年度)	ニューヨーク連続爆破テロ
7.13	洪英さんによる中国語講座開始	イチロー大リーグでMVP
8. 3	妹尾隆一郎ガバナー公式訪問	敬宮愛子内親王誕生
H14. 4. 6	第23回ライラセミナー(夜須高原少年自然の家)	
4.20	2700地区01-02年度地区大会	
5. 3	台湾高雄中興RC10周年記念式典 会員17名参加	
6.	例会出席100%を達成 (4年間)	サッカー・ワールドカップ
7.	村上泰之会長・貞弘賢治幹事就任 (2002-03年度) 旅行同好会、麻雀同好会が作られる	
7.26	高本精之ガバナー公式訪問	外務省問題で議員辞職が相次ぐ
9.13	新会員4名が同時入会	北朝鮮拉致問題
H15. 3. 7	例会場移転問題についてのクラブ協議会	イラク戦争
4.19	2700地区02-03年度地区大会 出席優秀賞を受賞	松井・ヤンキース球場で満塁HR SARS流行
5.10	第24回ライラセミナー(夜須高原少年自然の家)	
6. 7	創立20周年記念成人式(西鉄グランドホテル)	

## 創立記念事業の実績

### 福岡北ロータリークラブ20周年によせて

日本ボーイスカウト福岡第14団団委員長  
佐久間 研 治

福岡北ロータリークラブ、創立20周年、まことにおめでとうございます。心からお祝いをもうしあげます。

私達ボーイスカウト福岡第14団は、福岡北ロータリークラブ様ご発足時、当時の特別代表をされておられた平野桂樹先生の「木を育てるより人を育てる事業を」とのご発案により、昭和59年12月に発団させていただきました。昭和59年8月の入隊式、スカウトわずかに6名でした。12月の発団式にはカブスカウト25名となり、その後、昭和62年にボーイ隊、平成元年にシニア隊、平成4年にビーバー隊と次々と発隊して現在ではビーバー隊からローバー隊まで揃った団として子供達と共に成長しております。

活動基地は、当初平野先生所有の小戸の広い土地をスカウト広場と集会場（かもめハウス）として使用させていただいておりましたが、平成10年2月に移転、その後数か所を転々といたしましたが、平成11年7月に現在のサワライズ様の裏山を使用させて戴き第2のかもめハウスとして、活動を続けています。

その間もスカウト達は、元気にキャンプや、奉仕活動、日々の活動を楽しんでおります。特に、キャンプでは、4年に一度の日本ジャンボリーに毎回10名以上のスカウトが参加し、また、ベンチャー（以前のシニア）スカウトの大会 日本ベンチャー大会にも、2～4名のスカウトが参加し活躍しております。その中でもベンチャースカウト達の頑張りが頼もしく、毎年恒例の地区100kmハイクでは、完歩者も多く優秀な成績を納めていますし、無人島キャンプ、富士遠征、自転車で大阪遠征、農業体験などを経験し、平成9年には、富士スカウトがでました。また、平成12年には三島賢司君が善行賞で日本連盟表彰を受け、平成14年にはアジア地区でも表彰を受けるという栄誉をいただきました。これも指導者や保護者の皆様の日頃の指導のお陰と感謝いたします。そして、なによりも20年間支えていただき、また毎年多額のご援助を賜りました福岡北ロータリークラブの皆様のボーイスカウト活動へのご理解とご支援の賜物と感謝いたしております。

これからもボーイスカウト福岡第14団スカウト、指導者はじめ関係者一同、力を合わせてよりよい青少年育成を目指して努力を続けてまいります。引き続き、ボーイスカウト活動にご理解を戴き、ご支援をお願いいたします。

今後の福岡北ロータリークラブの皆様のご活躍といやさかをお祈りし、お祝いのことばとさせていただきます。

## 創立記念事業の実績



久住山登山 カブ隊



平成元年11月 100kmハイク シニア隊



平成3年9月 上進式



平成元年11月 発隊式 シニア隊



60kmハイク ボーイ隊



昭和59年12月  
発団記念式典 カブ隊発隊

## 福岡第14回20年のあゆみ



昭和60年10月 叶岳登山 カブ隊



昭和64年10月  
訓練キャンプ ボーイ隊

- 昭和59年12月 発団記念式典 カブ隊発隊
- 60年 8月 カブ隊サマーキャンプ
- 61年 3月 ボーイ隊上進式
- 10月 スカウトハウス建設
- 62年 4月 ボーイ隊発隊
- 63年 8月 5周年記念キャンプ
- 平成元年 5月 ドンタク奉仕
- 7月 こどもサミット参加
- 11月 シニア隊発隊式
- シニア隊100kmハイク発参加
- 2年 8月 第10回日本ジャンボリー参加
- 3年 4月 山口副団委員長告別式
- 6月 筧島団委員長たか章受章祝賀会
- 8月 シニア隊富士遠征
- 4年 4月 ビーバー隊発隊式
- 8月 第3回ベンチャー大会参加
- 12月 ユニセフ募金
- 5年 3月 平野桂樹先生ご逝去
- 7月 創立10周年記念式典
- 8年 9月 筧島団委員長勇退
- 佐久間新団委員長就任
- 9年 3月 久保田謙介君 富士スカウト
- 8月 第6回九州大会参加
- 10年 2月 かもめハウス移転
- 4月 シニア隊からベンチャー隊へ移行
- 8月 第12回日本ジャンボリー参加
- 11年 7月 新かもめハウス 早良興業様の敷地内へ
- 12年 6月 三島賢司君 日連善行賞表彰
- 8月 第5回日本ベンチャー大会参加
- 14年 6月 三島賢司君 アジア地区表彰
- 8月 第13回日本ジャンボリー参加



The 20th anniversary  
**FUKUOKA NORTH  
ROTARY CLUB**  
**1983→2003**

## 歴代役員・委員

### ■当クラブの発足

創立	1983年6月3日
承認	1983年6月22日
承認伝達式	1983年11月5日
創立時RI会長	向笠 広次
創立時ガバナー	中牟田 喜一郎
特別代表	平野 桂樹
スポンサークラブ	福岡城西RC
チャーターメンバー	50名
現在会員数	63名 (2003年6月7日現在)

## 歴代役員・委員

The 20th anniversary

### 1983~1984 年度

役員名	氏名
会長	常盤 重之
副会長	木曾 信之
幹事会幹事	曾若狭 信謙
S副会計	上田太郎
A会監査	三浦博
A特別代表	中野秀和
SA会監査	宮有平
SA特別代表	宮崎博
SA会監査	野口桂
SA特別代表	樹木明

委員会	委員長	副委員長	委員(ABC順)		
クラブ奉仕 A 出席睦員会 職業会 プロトライー財団	山本正隆 山谷一 木月正 江野大 中平新八 溝本田 田中増	敬洋裕 雄一正 月知西 香嘉秀 木中塚 塚野山 家尋部 田義耕	馬場眷 代木羊 矢佐佐 口格ラム ロータリーソング	介司勉祐道次 神荒矢正 谷知西松 正勇勝(兼)	金山 池上、森本、中村、尾崎、穂吉 宮崎 小山、渋谷
クラブ奉仕 B 雑誌・広報 クラブ会 職業会 ロータリー情報	大中塚 中平山 新八溝 溝本田 田中田 田増	博彬正喜 文男忠浩 彌三恵明 志浩耕	岡月志 香岩合 合貫小副 川山口 山谷	弘則(兼) 隆明正浩 臣進二泰昌	緒方、平野(比) 葉山、村上 前田 馬場(俊)、三島 福泉、富永 日隈、賀茂 灰田、武元 重松

役員名	氏名
理事	常盤 重之
"	木曾 信之
"	溝田 浩
"	中尋義
"	八山徳
"	山正敏
"	山嘉泰
"	大塚博
"	佐々木正

### 1984~1985 年度

役員名	氏名
会長	木曾 重之
副会長	新家忠
幹事会幹事	上田謙
S副会計	平野桂
A会監査	後藤彦
A特別代表	野田幹
SA会監査	灰宮洋
SA特別代表	宮崎和
SA会監査	有働博
SA特別代表	明樹

委員会	委員長	副委員長	委員(ABC順)	
クラブ奉仕 A 出席睦員会 職業会 ロータリー財団	鶴谷松雄 江本四郎 神代啓司 中西勇章 佐々木木岡月 荒木木岡月 松香山口泰	重尾松崎 江本代哲 大橋勇章 佐々木正 松香山口 中野正	勝徹 山本(正)、三嶋 渋谷哲和 次孝正 松香山口 正彬丈	吉田 穂吉、金山、森山、武藤、 山本(正)、三嶋 貫、馬屋原、津久井、池上 山本(隆)
クラブ奉仕 B 雑誌・広報 クラブ会 職業会 ロータリー情報	佐々木木岡月 荒木木岡月 松香山口泰 中野正 中平山正 平溝八若 大塚八若 佐々木大增	緒龜方崎 木木岡月 松香山口 野山正 山正 山正 山正	雄則隆 重茂 本則雄 重茂 本則雄 重茂 本則雄	三島
クラブ奉仕 C 雑誌・広報 クラブ会 職業会 ロータリー財団	大塚八若 佐々木大増 佐々木大増 佐々木大増 佐々木大増 佐々木大増 佐々木大増	平野比左志 葉山孝弘 岩崎明臣 合志弘 志久夫 志成桂介 永眷成	大谷、長府 村上、福地 山崎、常盤、田中 中村、高瀬 川村、小山、佐知 小副川、日隈、篠崎、馬場(俊) 神宮司 前田	大谷、長府 村上、福地 山崎、常盤、田中 中村、高瀬 川村、小山、佐知 小副川、日隈、篠崎、馬場(俊) 神宮司 前田

## 歴代役員・委員

### 1985~1986 年度

役員名	氏名
会長	新家忠明
副会長	田中義一
幹事会幹事	平野桂洋
副会計	灰田豊一
S A A	後藤和人
副会計監査	森山明博

委員会	委員長	副委員長	委員(ABC順)
クラブ奉仕A 出席 親睦活動ムーブメント	谷松雄勝 重村泰哲 渋谷元和	池上邦憲 梶原喜馬 平山正	田中(敏) 光安、金山、山本(正)、森山、有田 広瀬、山崎、馬場(春) 神宮司、尾崎
クラブ奉仕B 会員選考 会員増強	後藤彦雄 緒方次隆 中香義久	中野正吉 吉田國長	大塚
職業会員 会員業種分類	香田明義 田福喜浩 葉溝三	野地祐西 崎村志合 嶺田貫	神代
クラブ奉仕C 雑誌・広報 クラブ会報 口頭資料 資料	福島孝 岩井浩 葉溝三 上田謙	平野祐正 福岡淳 西合正 合貫智	荒木 武藤、高瀬 石松、佐知 灰田 貞弘、渡辺 亀崎、森本、中村 大橋、小山、重岡、小副川 馬場(俊)、内川 川村、三嶋 前田
R Y L A 国際奉仕 ロータリー財団	Y R Y L A 常増	磐木稔耕 磐田常增	比左志 一弘 暉臣進 昭信則重

役員名	氏名
理事	新家忠明
"	田中穎樹
"	盤桂雄彦
"	平野谷松
"	鶴谷豊彦
"	後藤謙太郎
"	上若田之恵
"	若本

### 1986~1987 年度

役員名	氏名
会長	田中義明
副会長	平野桂樹
幹事会幹事	灰田一之彦
副会計	若渡信彦
S A A	森山生信
副会計監査	宮中原明

委員会	委員長	副委員長	委員(ABC順)
クラブ奉仕A 出席 親睦活動ムーブメント	池上邦泰 村上原卓 馬屋神宮司常	田中吉泉 福尾高 高村卓	大橋、合志 石松、有田、日隈 山崎、広瀬、内川 武元、手塚
クラブ奉仕B 会員選考 会員増強	代司健樹 安田直 月吉香	中大馬 大嘉眷 馬塚場	川村 佐知 長府
職業会員 会員業種分類	部穂安 田月部 溝浩	平山 瀬崎 比左志	山本、松岡 荒木、亀崎 若狭
クラブ奉仕C 雑誌・広報 クラブ会報 口頭資料 資料	野藤家島 島田西 田中本 上田新	山瀬村 崎治 喜正 正三郎	藤原、花田 木曾、葉山 重岡、大曲、千葉 馬場(俊) 森本、三嶋 播本
R Y L A 国際奉仕 ロータリー財団	田耕 田耕 田耕 田耕	高岩 西貞 貞福 小副川	高弘 祐治 地鶴 崎谷

## 1987~1988 年度

役員名	氏名
会長	平野 桂樹
副会長	溝部 三之
幹事長	若狭 浩信
幹事	篠島 勝
幹事会計	播磨 信誠
S A A	平山 誠丈
副幹事会計	佐有 正道
会計監査	知勵 博明

委員会	委員長	副委員長	委員(ABC順)
クラブ奉仕 A 出席席	馬屋原 晟勝	渡辺 武彦	平野(比) 貞弘、穂吉、芦田
親睦活動ム ログラム	高尾 直光	内川 秀一	岩崎
ロータリーソング クラブ奉仕 B	安府 博長	瀬川 重喜	重岡
会員選考会 会員増強会	府元 和嘉	大福 喜博	常盤
職業分類	塚田 大前	馬場 春	
会員選考会 会員増強会	田村 前川	木曾 喜重	
職業分類	月香 中香	原藤 稔介	
クラブ奉仕 C 雑誌・広報	西地 福中	松葉 順喜	三嶋
クラブ奉仕 C 雑誌・広報	木家 荒福	田洋 勝彦	有田、日隈、大曲
資料保存会 ロータリー情報	藤田 新忠	岡田 弘一	山本
職業奉仕社 会員奉仕社	田崎 増武	田崎 謙太郎	池上
青少年奉仕社 R Y L A	崎嶋 増生	山崎 武二	森本
国際奉仕団 ロータリー財團	宮崎 仁	田崎 孝二	手塚、小松、村上、成松
米山奨学会 ポリオプラス	宮大馬屋原	田崎 浩勝	千原、馬場(俊)、三島
		山崎 晴一郎	中村

役員名	氏名
理事	平野 桂樹
"	溝部 三耕
"	増田 次司
"	中西 勇啓
"	中神 重人
"	龟代 则則
"	大崎 人博
"	宮和 明晟

## 1988~1989 年度

役員名	氏名
会長	溝部 浩三
副会長	大塚 嘉博
幹事長	篠崎 勝人
幹事	宮崎 和誠
幹事会計	播磨 誠太郎
S A A	上貞 賢治
副幹事会計	佐野 弘治
会計監査	有効 博明

委員会	委員長	副委員長	委員(ABC順)
クラブ奉仕 A 出席席	馬屋原 晟勝	渡辺 武彦	藤原、小丸、山田、梶原
親睦活動ム ログラム	高尾 直光	大曲 美沙	藤谷、森本、勝浦、横山
ロータリーソング クラブ奉仕 B	安崎 岩弘	上泰 隆之	手塚、松岡
会員選考会 会員増強会	崎嶋 明喜	智信 計	服部、重岡
職業分類	元田 博男	昭一	三嶋
会員選考会 会員増強会	田山 丈文	隈曾島 重	
職業分類	松石 若	祐勝 勇	武藤
クラブ奉仕 C 雑誌・広報	西中佐 知	彦樹 比	間、有田、安部
クラブ奉仕 C 雑誌・広報	西新川 家	桂志 左	田中
資料保存会 ロータリー情報	崎木 崇	孝耕 二	森山
職業奉仕社 会員奉仕社	木崎 勉	義敬 一	芦田、長府、川下、中馬
青少年奉仕社 R Y L A	宮崎 和人	敬一	有吉、馬場、溝口
国際奉仕団 ロータリー財團	宮崎 勉	彬夫	神代
米山奨学会 ポリオプラス	田瀬 重	勝恵	
	松本 本	吉	

事務局 井上純子

## 歴代役員・委員

### 1989~1990 年度

役員名	氏名
会長	大塚嘉博
副会長	大本富恵人
幹事会幹事	宮崎和勝彦
副会計会計	重渡松太徳
S A A	渡川弘武
S A A	会計監査手有

委員会	委員長	副委員長	委員(ABC順)
クラブ奉仕A 睦親活動ムラ ロータリーソング	正彬雄樹一郎 喜喜博重	正富繁憲 安田	一葉山、森山、久米
クラブ奉仕B 員員選考 員員増強	正太和信 木曾	茂勇 福中	灰田、村上、矢野、石井
職業業業会 青年少年奉仕	正信正 R Y L 国際奉仕	祐次 喜三 喜浩	香月、佐知 高尾
クラブ奉仕C 雑誌・広報 クラブ会報 資料保存	正順信 喜博秀 喜桂隆	喜喜喜 喜喜喜 喜喜喜	廣瀬 武藤
職業業業会 青年少年奉仕	正順信 喜博秀 喜桂隆	喜喜喜 喜喜喜 喜喜喜	横山、上田、宮丸 新家
R Y L 国際奉仕	正昭浩 拓俊正	喜喜喜 喜喜喜	篠崎、中馬
ロータリー財団 米山奨学会 ポリオプラス	正比左志 重原	喜喜喜 喜喜喜 喜喜喜	長府 神代 田中 光安

事務局 井上純子

### 1990~1991 年度

役員名	氏名
会長	本荒田惠
副会長	木松勝勉
幹事会幹事	重中正彬
副会計会計	川下武徳
S A A	播手裕誠
S A A	会計監査藤谷有

委員会	委員長	副委員長	委員(ABC順)
クラブ奉仕A 睦親活動ムラ ロータリーソング	正丈喜 喜隆茂 喜高岩	治馬矢 彦中光 健馬安	間、岩瀬、久米 穂吉、江藤 灰田、重岡、上畠 荒木(兼)、香月(兼)、辻
クラブ奉仕B 員員選考 員員増強	正穂勝弘 明重啓憲 喜前	治口弘 義溝貞 治武	武元 溝部 宮崎
職業業業会 青年少年奉仕	正則司 喜神 喜前	治馬屋 義馬宮 治原	三島、小副川、上田 大塚
R Y L 国際奉仕	正樹一 喜孝 喜葉	治貞 忠丸 忠新	木曾 久保田、村上 石井 香月
ロータリー財団 米山奨学会 ポリオプラス	正治喜 喜成 喜成	治樹 喜武 喜若	

事務局 井上純子

## 1991~1992 年度

役員名	氏名
会長	荒木 勉
副会長	前田 三正
幹事会幹事	中野彬勝
副会計会計	高尾正四
S A A	八尋繁
S A A	播谷明
会計監査	藤崎博
有	岩明
勤	有
明	博

委員会	委員長	副委員長	委員(ABC順)
クラブ奉仕A 出席	中馬 次治	久江 郎一	荒牧、有田、森、中村(智)
親睦活動	西場 勇俊	米藤 一郎	穂吉、平野(比)
ログラム	野田 正彦	矢岡 敏郎	篠崎、玉川、上畠
ロータリーソング	島田 重平	岡山 太喜	勝浦、大塚(弘)、辻
クラブ奉仕B 会員選考	島野 一樹	元山 太喜	若狭
会員増強	口博義	溝宮 和浩	本田
職業分類	松口 賢治	崎和博	藤原
クラブ奉仕C 雑誌・広報	松原 義治	村川 三人	
クラブ会報	原馬 崇順	川家 正浩	葉山、光安、上田、春田
資料保存	原丸 嘉博	府山 忠二	
職業奉仕	坂口 勝成	曾山 男夫	重松
社会奉仕	原大 嘉正	田木 一生	三嶋
青少年奉仕	原福 重祐	田曾 重通	村上
R Y L A 国際奉仕	原龟 雄重	田吉 信忠	森本
ロータリー財団	原月 富啓	田井 吉義	長田、間、上村
米山奨学会	原辺 武正	田中 隆一	
	原村 喜彦	田播 一誠	

事務局 井上純子

## 1992~1993 年度

役員名	氏名
会長	荒木 勉
副会長	前田 三正
幹事会幹事	中野彬勝
副会計会計	高尾正四
S A A	小川浩二
S A A	播本誠彦
会計監査	渡辺弘彦
有	岩明正彬
勤	有
明	博

委員会	委員長	副委員長	委員(ABC順)
クラブ奉仕A 出席	篠宮 勝和	梶原 成一	間、鷺澤(さざわ)
親睦活動	江崎 藤人	島浦 禮	中村(智)
ログラム	平野 比左	山浦 勝	久米、光安、山田
ロータリーソング	森本 茂	憲	長田、重岡
クラブ奉仕B 会員選考	亀中 嘉則	祐生 一	藤原
会員増強	本崎 義恵	謙太郎	
職業分類	村田 正	武生	
クラブ奉仕C 雑誌・広報	田島 三	邦生	
クラブ会報	丸上 治	久忠	辻
資料保存	弘塚 貞泰	忠	春田、久保田、大塚(弘)
職業奉仕	府田 賢	雄	溝口
社会奉仕	田野 泰	男	平山
青少年奉仕	吉代 有	勉	溝部
R Y L A 国際奉仕	辺矢 香	孝	平野(桂)、矢野(羊)
ロータリー財団	辺神 道	夫	
米山奨学会	元博	樹	
		文	
		重	
		次	
		勝	

事務局 井上純子

## 歴代役員・委員

### 1993~1994 年度

役員会	
会長	葉山 孝
副会長	有田 昭穂
幹事	小副川 浩二
会計	播本 誠
S A A	中野 正彬
副幹事	重岡 太郎
副会計	江副 昌邦
副S A A	辻 和男
会計監査	長府 国夫

理事会	
H5.7~H6.6 理事	葉山 孝
	有田 昭穂
	宮丸 貞三
	篠崎 勝信
	矢野 正彦
H5.7~H7.6 理事	平野 比左志
	三島 計一
	大塚 嘉博
	武元 和博

委員会	委員長	副委員長	委員
クラブ奉仕A	宮丸 貞三		
出席	間 直樹	高尾 勝	江副、四十万、三谷
親睦活動	藤谷 繁樹	森 政孝	梶原、岐部、植田
プログラム	勝浦 勝	春田 雅章	福地、鷺沢、山田、安武
ロータリーソング	光安 直樹	三嶋 隆夫	横山、村上
クラブ奉仕B	有田 昭穂		
会員選考	荒木 勉		
会員増強	亀崎 重則	江藤 敏	長田、溝部
職業分類	中西 勇次	森山 武生	藤原
ロータリー情報	大塚 嘉博	本田 恵	新家
クラブ奉仕C	武元 和博		
雑誌・広報	森本 茂雄	宮崎 和人	平田
クラブ会報	久保田 通	荒牧 邦夫	大塚(弘)、大浦、玉川
資料保存	中村 正義	平山 喜丈	
職業奉仕	矢野 正彦	木曾 信重	溝口
社会奉仕	平野 比左志	貞弘 賢治	
青少年奉仕	篠崎 勝宿	香月 隆	馬場
R Y L A	岩崎 明弘	梶吉 憲一	中村(智)
国際奉仕	三島 計一	矢野 羊祐	神代
ロータリー財団	久米 一郎	中村 晋一郎	
米山奨学会	重松 勝	石松 順禧	

事務局 大田 玲子

### 1994~1995 年度

役員会	
会長	有田 昭穂
副会長	宮丸 貞三
幹事	重岡 太郎
会計	江副 昌邦
S A A	中西 勇次
副幹事	武元 和博
副会計	岐部 定則
副S A A	矢野 正彦
会計監査	長府 国夫

理事会	
H6.7~H7.6 理事	有田 昭穂
	平野 比左志
	三島 計一
	武元 和博
	江藤 敏
H6.7~H8.6 理事	宮丸 貞三
	福地 祐一
	岩崎 明弘
	勝浦 勝

委員会	委員長	副委員長	委員
クラブ奉仕A	平野 比左志		
出席	森 政孝	岐部 定則(兼)	石田、友枝、窄頭
親睦活動	貞弘 賢治	横山 憲一	久保田、植田、山田、吉田
プログラム	春田 雅孝	森本 茂雄	梶原、中村(晋)
ロータリーソング	荒木 勉	三嶋 隆夫	中野、三谷
クラブ奉仕B	宮丸 貞三(兼)		
会員選考	石松 順禧	木曾 信重	
会員増強	中村 正義	藤谷 繁樹	溝部
職業分類	森山 武生	梶吉 憲一	小副川
ロータリー情報	本田 恵	新家 忠男	葉山
クラブ奉仕C	江藤 敏		
雑誌・広報	宮崎 和人	高尾 勝	
クラブ会報	香月 隆	間 直樹	中村(智)、長田、大浦
資料保存	平山 喜丈	馬場 俊治	
職業奉仕	勝浦 勝	村上 泰之	
社会奉仕	三島 計一	播本 誠	藤原
青少年奉仕	岩崎 明弘	光安 直樹	
R Y L A	大塚 弘	篠崎 勝信	
国際奉仕	福地 祐一	矢野 羊祐	平田
ロータリー財団	神代 啓司	亀崎 重則	
米山奨学会	久米 一郎	玉川 久雄	

事務局 大田 玲子

# 1995~1996 年度

役員会	
会長	宮丸貞三
副会長	香月 隆
幹事	武元和博
会計	田中一隆
S A A	矢野正彦
副幹事	間直樹
副会計	岐部定則
副S A A	梶原正成
会計監査	長府國夫

理事会	
H7.7~H8.6 理事	宮丸貞三
	福地祐一
	岩崎明弘
	勝浦勝
	香月 隆
H7.7~H9.6 理事	春田雅孝
	石松順禧
	森本茂雄
	小副川浩二

委員会	委員長	副委員長	委員
クラブ奉仕A	春田雅孝		
出席	森山武生	中村正義	窄頭、宮崎(良)、佐々木
親睦活動	山田隆一	村上泰之	光宏、大塚、古川、加藤
プログラム	江藤敏	篠崎勝信	久保田、中野
ロータリーソング	長田吉弘	矢野羊祐	森、貞弘
クラブ奉仕B	香月 隆		
会員選考	平田重成	久米一郎	木曾
会員増強	友枝幹明	本田 恵	宮崎(和)
職業分類	穂吉憲一	荒木 勉	平野
ロータリー情報	小副川浩二	葉山 孝	有田、新家
クラブ奉仕C	森本茂雄		
雑誌・広報	高尾勝	溝部浩三	
クラブ会報	中村智寛	三谷雅英	藤谷、横山、吉田
資料保存	石田誠二	亀崎重則	
職業奉仕	勝浦勝	馬場俊治	
社会奉仕	石松順禧	大塚 弘	藤原
青少年奉仕	岩崎明弘	重岡太郎	
R Y L A	植田正男	神代啓司	
国際奉仕	福地祐一	平山喜丈	三島
ロータリー財団	大浦純平	三嶋隆夫	
米山奨学会	玉川久雄	中西勇次	

事務局 大田玲子

# 1996~1997 年度

役員会	
会長	香月 隆
副会長	亀崎重則
幹事	間直樹
会計	岐部定則
S A A	梶原正成
副幹事	久保田通
副会計	田中一隆
副S A A	大塚 弘
会計監査	長府國夫

理事会	
H8.7~H9.6 理事	香月 隆
	石松順禧
	森本茂雄
	中西勇次
	小副川浩二
H8.7~H10.6 理事	亀崎重則
	葉山孝
	森山武生
	重岡太郎

委員会	委員長	副委員長	委員
クラブ奉仕A	森山武生		
出席	中村正義	加藤美津男	佐々木
親睦活動	宮崎和人	中野正彬	江藤、長田
プログラム	篠崎勝信	宮崎良春	友枝、山田
ロータリーソング	古川茂夫	貞弘賢治	平山
クラブ奉仕B	亀崎重則		
会員選考	三島計一	福地祐一	木曾
会員増強	藤谷繁樹	久米一郎	神代
職業分類	横山憲一	玉川久雄	穂吉
ロータリー情報	小副川浩二	宮丸貞三	新家
クラブ奉仕C	石松順禧		
雑誌・広報	三谷雅英	中村智寛	武元
クラブ会報	窄頭正韶	高尾勝	石田、植田
資料保存	森政孝	岩崎明弘	
職業奉仕	森本茂雄	村上泰之	
社会奉仕	葉山孝	有田昭穂	
環境奉仕	矢野正彦	平田重成	本田
青少年奉仕	重岡太郎	大浦純平	
R Y L A	吉田征喜	馬場俊治	
国際奉仕	中西勇次	溝部浩三	
ロータリー財団	光安直樹	勝浦勝	
米山奨学会	矢野羊祐	三嶋隆夫	

事務局 大田玲子

## 歴代役員・委員

1997~1998 年度

役 員 会	
会 長	亀崎 重則
副 会 長	森 本 茂 雄
幹 事	久保田 通
会 計	田 中 一 隆
S A A	大塚 弘
副 幹 事	矢野 正彦
副 S A A	横山 憲 一
会 計 監 査	中 村 義 治

理 事 会	
H9.7~H10.6 理 事	亀崎 重則
	葉 山 孝
	森 山 武 生
	中 西 勇 次
	森 本 茂 雄
H9.7~H11.6 理 事	岩 崎 明 弘
	勝 浦 勝
	大 浦 純 平
	貞 弘 賢 治

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	委 員
ク ラ ブ 奉 仕 A	大 浦 純 平		
出 席	佐々木 和 資	新 留 正 育	井上(賢)、三吉
親 瞳 活 動	長 田 吉 弘	吉 田 征 喜	森、窄頭、大野
プ ロ グ ラ ム	中 野 正 彬	藤 谷 繁 樹	石松、荻原、井上(義)
ロータリー ソング	小副川 浩 二	玉 川 久 雄	梶原
ク ラ ブ 奉 仕 B	森 本 茂 雄		
会 員 選 考	福 地 祐 一		
会 員 増 強	宮 崎 良 春	木 曾 信 重	
職 業 分 類	三 島 計 一	平 山 喜 丈	新家
ロータリー 情 報	葉 山 孝	篠 崎 勝 信	宮丸
ク ラ ブ 奉 仕 C	貞 弘 賢 治		
雑 誌 ・ 広 報	江 藤 敏		
ク ラ ブ 会 報	植 田 正 男	古 川 茂 夫	馬場、後藤
資 料 保 存	三 嶋 隆 夫	中 村 正 義	
職 業 奉 仕	森 山 武 生	有 田 昭 穂	
社 会 奉 仕	中 西 勇 次	神 代 敬 司	
環 境 奉 仕	宮 崎 和 人		
青 少 年 奉 仕	岩 崎 明 弘	梶 吉 憲 一	
R Y L A	矢 野 羊 祐	高 尾 勝	
国 際 奉 仕	勝 浦 勝	中 村 智 寛	
ロータリー 財 団	村 上 泰 之	友 枝 幹 明	
米 山 獎 学 会	山 田 隆 一		
姉 妹 ク ラ ブ	光 安 直 樹	中 村 智 寛 (兼)	中西(兼)、勝浦(兼)

事務局 大田玲子

# 1998~1999 年度

役員会	
会長	森本茂雄
副会長	三島計一
幹事	矢野正彦
会計	田中一隆
S A A	横山憲一
副幹事	大浦純平
副会計	大野穰
副 S A A	植田正男
会計監査	中村義治

理事会	
1998~1999 理 事	森本茂雄
	岩崎明弘
	勝浦勝
	大浦純平
	貞弘賢治
1999~2000 理 事	三島計一
	長田吉弘
	小副川浩二
	吉田征喜

委員会	委員長	副委員長	委員
クラブ奉仕A	長田吉弘		
出席	井上義隆	宮崎良春	新留
親睦活動	荻原弘章	井上賢司	佐々木[兼任]
プログラム	藤谷繁樹	石松順禧[兼任]	
ロータリーソング	玉川久雄	宮崎和人	久保田[兼任]、大塚[兼任]
クラブ奉仕B	三島計一		
会員選考	村上泰之		
会員増強	中野正彬	矢野羊祐	亀崎、中村(正)
職業分類	平山喜丈	山田隆一	中西
ロータリー情報	篠崎勝信	木曾信重	
クラブ奉仕C	吉田征喜		
雑誌・広報	江藤敏		
クラブ会報	古川茂夫	福地祐一	大塚、後藤、久保田
資料保存	堺頭正韶	葉山孝	
職業奉仕	貞弘賢治	三嶋隆夫	
社会奉仕	岩崎明弘		
環境奉仕	森山武生		
青少年奉仕	小副川浩二	篠崎勝信[兼任]	
R Y L A	梶原正成	佐々木和資	
国際奉仕	勝浦勝	光安直樹	
ロータリー財団	石松順禧		
米山奨学会	高雄勝		
姉妹クラブ	中村智寛	吉田征喜[兼任]	

事務局 大田玲子

# 歴代役員・委員

1999~2000 年度

役員会	
会長	三島 計一
副会長	岩崎 明弘
幹事	大浦 純平
会計	井上 宣孝
S A A	植田 正男
副幹事	吉田 征喜
副会計	田中 一隆
副S A A	長田 吉弘
会計監査	中村 義治

理事会	
クラブ奉仕B	三島 計一
1998~1999 理事	小副川 浩二 吉田 征喜 長田 吉弘 岩崎 明弘
社会奉仕	佐々木 和資
職業奉仕	荻原 弘章
雜誌広報	村上 泰之 中西 勇次

青少年奉仕  
社会奉仕  
  
クラブ奉仕B  
クラブ奉仕A  
クラブ奉仕C  
職業奉仕  
国際奉仕

委員会	委員長	副委員長	委員
クラブ奉仕A	佐々木 和資(理事)		
出席	光安 直樹	高尾 勝	古川(毅) [兼任]、佐美三 [兼任]
親睦活動	玉川 久雄	古川 茂夫	城戸、川口 [兼任]
プログラム	後藤 元継	三嶋 隆夫	中村(智)、宮武
ロータリーソング	篠崎 勝信	勝浦 勝 [兼任]	氏原
クラブ奉仕B	岩崎 明弘(副会長)		
会員選考	中村 正義	勝浦 勝 [兼任]	
会員増強	葉山 孝	矢野 正彦	
職業分類	平山 喜丈(3年目)	山田 隆一(2年目)	森本(1年目)
ロータリー情報	亀崎 重則	木曾 信重	
クラブ奉仕C	荻原 弘章(理事)		
雑誌・広報	森山 武生	中村 義治(監査)	
クラブ会報	梶原 正成	大野 穂	井上(賢)、森本[兼任]、泊
資料保存	久保田 通	大塚 弘	佐美三 [兼任]
職業奉仕	村上 泰之(理事)	田中 一隆	
社会奉仕	吉田 征喜(副幹事)		
環境奉仕	福地 祐一	古川 毅 [兼任]	
青少年奉仕	小副川 浩二(理事)	新留 正毅	
R Y L A	藤谷 繁樹	宮崎 和人	
国際奉仕	中西 勇次(理事)		
ロータリー財団	貞弘 賢治	川口 勝延 [兼任]	
米山奨学会	中野 正彬	宮崎 良春	
姉妹クラブ	横山 憲一	井上 義隆	
20周年準備委員会	岩崎 明弘(副会長)	吉田 征喜(副幹事)	村上(理事)、中西(理事)

事務局 大田玲子

# 2000~2001 年度

役員会	
会長	岩崎 明弘
副会長	福地 祐一
幹事	吉田 征喜
会計	井上 宣孝
S A A	長田 吉弘
副幹事	勝浦 勝
副会計	井上 義隆
副S A A	後藤 元継
会計監査	中村 義治

理事会	
1999~2000	岩崎 明弘
2000~2001	佐々木 和資
理 事	荻原 弘章
	村上 泰之
	中西 勇次
2000~2001	福地 祐一
2001~2002	亀崎 重則
理 事	後藤 元継
	矢野 正彦
2000~2001職権上の理事	吉田 井上(宣) 長田

委員会	委員長	副委員長	委員
クラブ奉仕A	中西 勇次(理事)		
出席席	佐美三 幸治	篠崎 勝信	玉川、西嶋、山下(裕)
親睦活動	川口 勝延	植田 正男	三嶋、鐘川、梶原[兼任]
ログラム	大野 穂	横山 憲一	光安、古川(茂)
ロータリーソング	氏原 完典	中村 智寛	藤谷[兼任]
クラブ奉仕B	福地 祐一(副会長)		
会員選考	宮武 康夫	大浦 純平[兼任]	
会員増強	小副川 浩二	宮崎 和人	三島[兼任]
職業分類	山田 隆一(3年目)	森本 茂雄(2年目)	三島(1年目)
ロータリー情報	葉山 孝	木曾 信重	
クラブ奉仕C	亀崎 重則		
雑誌・広報	古川 賀	中野 正彬	
クラブ会報	井上 義隆(副会計)	貞弘 賢治	平山、森
資料保存	大塚 弘	久保田 通[兼任]	大浦[兼任]
職業奉仕	矢野 正彦(理事)		
社会奉仕	荻原 弘章(理事)		
環境奉仕	久保田 通[兼任]		
青少年奉仕	佐々木 和資(理事)	蒲原 潤齊	
RYLA	井上 賢司	中村 正義	
国際奉仕	村上 泰之(理事)		
ロータリー財団	城戸 英喜	中村 義治(監査)	
米山奨学会	森山 武生	梶原 正成[兼任]	
姉妹クラブ	藤谷 繁樹[兼任]	泊 義雄	

事務局 大田 玲子

## 歴代役員・委員

2001~2002 年度

役員会	
会長	福地 祐一
副会長	村上 泰之
幹事	勝浦 勝
会計	井上 義隆
S A A	後藤 元継
副幹事	貞弘 賢治
副会計	大野 穂
副S A A	小副川 浩二
会計監査	中村 義治

クラブ奉仕B

理事會	
	福地 祐一
2000~2001	篠崎 勝信
2001~2002	後藤 元継
理 事	矢野 正彦
	村上 泰之
2001~2002	久保田 通
2002~2003	横山 憲一
理 事	光安 直樹
	大浦 純平
2001~2002職権上の理事	勝浦 井上(義)

青少年奉仕

クラブ奉仕A

クラブ奉仕B

職業奉仕

国際奉仕

社会奉仕

クラブ奉仕C

委員会	委員長	副委員長	委員
クラブ奉仕A	矢野 正彦(理事)		
出席席	城戸 英喜	中村 正義	瀬戸口、堀内
親睦活動	井上 賢司	古川 茂夫	佐々木、白石
プログラム	宮武 康夫	長田 吉弘	中野、中村(智)
ロータリー・ソング	鐘川 邦次朗	荻原 弘章	
クラブ奉仕B	村上 泰之(副会長)		
会員選考	山田 隆一	宮崎 和人	
会員増強	梶原 正成	吉田 征喜	徳田
職業分類	森本 茂雄(3年目)	三島 計一(2年目)	木曾(1年目)
ロータリー情報	葉山 孝(3年目)	岩崎 明弘(1年目)	
クラブ奉仕C	大浦 純平(理事)		
雑誌・広報	井上 宣孝		
クラブ会報	大野 穂	藤谷 繁樹	山下(裕)、金納
資料保存	植田 正男		
職業奉仕	久保田 通(理事)	三嶋 隆夫	
社会奉仕	光安 直樹(理事)	森山 武生	
環境奉仕	森 陽一		
青少年奉仕	篠崎 勝信(理事)		
R Y L A	西嶋 衛	大塚 弘	
国際奉仕	横山 憲一(理事)	中西 勇次	
ロータリー財団	古川 肇		
米山奨学会	玉川 久雄		
姉妹クラブ	川口 勝延	泊 義雄	

事務局 大田玲子

## 2002~2003 年度（創立20周年）

役員会	
会長	村上 泰之
副会長	篠崎 勝信
幹事	貞弘 賢治
会計	井上 義隆
S A A	小副川 浩二
副幹事	横山 憲一
副会計	大野 穂
副S A A	玉川 久雄
会計監査	白石 正彦

理事会	
会長	村上 泰之
2001~2002	久保田 通
2002~2003	横山 憲一
理事	光安 直樹
	大浦 純平
2002~2003	篠崎 勝信
2003~2004	中野 正彬
理事	植田 正男
	川口 勝延
2002~2003職権上の理事	貞弘 井上(義) 小副川

委員会	委員長	副委員長	委員
クラブ奉仕A	光安直樹(理事)		
出席席	森陽一	小林憲治	泊、武富、井上(観)、湯浅、小出、松本、市川、清流、中嶋
親睦活動	堤美芳	鐘川邦次郎	日下部、柳原、松崎、浦、入江、重田、山下(幸)
ログラム	城戸英喜	大野穂	勝浦、葉山
ロータリーソング	荻原弘章	梶原正成	
クラブ奉仕B	篠崎勝信(副会長)		
会員選考	中西勇次		
会員増強	金納健太郎	徳田昇	玉川、福地、奥井
職業分類	三島計一(3年目)	木曾信重(2年目)	古川(毅)(1年目)
ロータリー情報	岩崎明弘(2年目)	森本茂雄(1年目)	
クラブ奉仕C	久保田通		
雑誌・広報	森山武生		
クラブ会報	山下裕彦	後藤元継	井植、重松
資料保存	大塚弘		
職業奉仕	中野正彬(理事)		
社会奉仕	大浦純平(理事)		
環境奉仕	川口勝延(理事)		
青少年奉仕	植田正男(理事)		
R Y L A	長田吉弘	古川茂夫	
国際奉仕	横山憲一(理事)	中村正義	
ロータリー財団	三嶋隆夫	宮崎和人	
米山奨学会	井上賢司	山田隆一	
姉妹クラブ	中村智寛	矢野正彦	

事務局 大田玲子

## この20年間に亡くなられた会員

ご冥福をお祈り申し上げます

物故会員名  
会員期間  
生年月日  
ご逝去日



増田 耕  
1983/6/3～1989/11/27  
1921.5.15  
1989.11.27



田中 義明  
1983/6/3～1991/10/14  
1929.6.24  
1991.10.14



前田 三男  
1983/6/3～1993/2/23  
1924.10.5  
1993.2.23



平野 桂樹  
1983/6/3～1993/3/7  
1922.3.15  
1993.3.7



常盤 稔  
1983/6/3～1988/6/30  
1914.6.21  
1994.12.12



溝部 浩三  
1983/6/3～1996/6/30  
1922.1.28  
1997.2.23



新家 忠男  
1983/6/3～1998/2/18  
1910.3.17  
1998.2.18



大塚 嘉博  
1983/6/3～1987/1/2  
1929.2.13  
2003.2.26



広瀬 哲男  
1985/2/8～1990/11/24  
1925.8.9  
1990.11.24



溝口 博義  
1988/6/3～1994/10/28  
1924.1.1  
1994.10.28



森 政孝  
1991/3/15～1998/3/6  
1926.5.23  
1998.3.6



中村 晋一郎  
1993/10/8～1995/10/27  
1929.10.10  
1997.1.6



末松 一茂  
1998/7/24～1998/12/9  
1952.9.18  
1998.12.9



西嶋 衛  
1999/11/19～2002/3/15  
1945.8.26  
2002.3.15

## 寄付会員の実績



### ■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

平野 桂樹 平田 重成 木曾 信重 久保田 通 後藤 元継  
村上 泰之 貞弘 賢治

### ■ポール・ハリス・フェロー

間 直樹	穂吉 憲一	荒木 勉	福地 祐一	亀崎 重則
香月 隆	本田 恵	岩崎 明弘	松岡 弘則	神代 啓司
前田 三男	光安 直樹	宮崎 和人	溝部 浩三	森 政孝
中村 正義	大塚 嘉博	大浦 純平	重松 勝	篠崎 勝信
新家 忠男	武元 和博	矢野 正彦	矢野 羊祐	後藤 元継
古川 肅	横山 憲一	井上 賢司	藤谷 繁樹	城戸 英喜
宮武 康夫	森 陽一	山下 裕彦		

### ■準ポール・ハリス・フェロー

三嶋 隆夫 山田 隆一

### ■ベネファクター

有田 昭穂 葉山 孝 宮丸 貞三 久保田 通 中野 正彬

### ■財団の友

荻原 弘章 長田 吉弘 金納 健太郎 村上 泰之 小副川 浩二

### ■米山功労者

石松 順禧	木曾 信重	重松 勝	田中 義明	武元 和博
中野 正彬	福泉 喜久夫	松岡 弘則	溝部 浩三	村上 泰之
株ミスター・マックス		森山 武生	矢野 羊祐	山田 隆一
三嶋 隆夫	大浦 純平	久保田 通	森本 茂雄	高尾 勝
城戸 英喜	三島 計一	岩崎 明弘	福地 祐一	矢野 正彦

### ■メモリアル・コントリビューター

森 千寿子（政孝夫人）



The 20th anniversary

FUKUOKA NORTH ROTARY CLUB



## 編集後記

2001年（H13）の夏の終わり、20周年の準備の話がまとまった。第1回目の実行委員会が8月28日に開かれ、元会長の三島計一会员がチアマンとなり、全会員参加の組織が出来、9月7日に発表された。総務部会と記念誌部会を中西勇次ゼネラルマネージャが、式典などの演出を含み、その他部会は荻原弘章コミッショナーが統括する事になった。

記念誌部会は、2001年（H13）9月21日に第1回目を開き、通算20回の会合を重ねて來た。ちなみに全部会の会合数は83回にもなる。この間、何のトラブルもなく準備は進んで來たが、SARS問題が発生し、残念ながら姉妹クラブの台湾の高雄中興ロータリークラブが来福できなかった。

記念誌は、「ビジュアルで読みやすく、そして我がクラブの未来を指向する」ことを編集方針に掲げ、企画・取材・編集と紆余曲折を重ね、特に若手会員の座談会には力を入れた。

果たして方針どおりに完成しているかは、皆様方の判断におまかせしたい。最後に、お手伝い下さった方々に、心より感謝の意を捧げたい。

記念誌部会  
Chief Director 久保田 通

## 創立20周年記念誌部会

General Manager 中西 勇次、Adviser 森本 茂雄

久保田 通、植田 正男、玉川 久雄、山下 裕彦、白石 正彦、後藤 元継

The 20th anniversary

FUKUOKA NORTH ROTARY CLUB



福岡北ロータリークラブ  
創立20周年記念誌

平成15年7月30日 発行

編集／福岡北ロータリークラブ創立20周年記念誌部会

発行／福岡北ロータリークラブ

E-mail:fnrc@lime.ocn.ne.jp

印刷／株式会社 玉川印刷

The 20th  
anniversary



FUKUOKA NORTH  
ROTARY CLUB  
**1983→2003**